

経済産業省委託

平成21年度 東アジア大での産業統計国際比較データ整備事業

調査報告書

平成22年3月

財団法人 国際開発センター

はじめに

東アジアの経済活動が Global Economy へと変遷する中、東アジア地域の相互依存関係は、「事実上の統合」(de facto economic integration)が先行し、制度整備が後を追いかける状況にある。ASEAN (Association of Southeast Asia Nations) 域内では ASEAN をハブとして中国、日本、韓国との間で次々に EPA が成立し、ASEAN は、「ASEAN 憲章」(the ASEAN Charter)に基づき 2015 年までに ASEAN 共同体 (ASEAN Community) の設立を目指し、必要な各種制度整備を進めている。まさに、1つの地域が経済圏として、「面(地域)」としての活動を始めている。

この状況下、国際分業の進捗状況、産業構造の変化等を正確に把握するための統計情報の重要性が高まっているが、東アジア地域の「地域経済の研究」の土台となるべき「国際比較可能な産業統計」の整備が進んでいない。その主な理由は、東アジア諸国の多くが自国の経済統計の整備に追われ、他国との比較まで手が回らなかったことにある。Closed Economy が主流の時代においては問題はなかったかも知れないが、経済が加速的にグローバル化を進める中では、各国政府の立案者や経済学者が国際経済、域内経済における自国の位置を的確に把握し分析する必要性が生じている。しかし、その期待に応えられる産業統計データは今なお未整備である。グローバル化する実態経済を、如何にして東アジア域内の経済統計で計測するか、大きな課題がここにある。

上記課題を解決するために、2007 年 1 月に設立された EAMS (East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics) は、地域特性を反映した産業分類として EAMIC (East Asia Manufacturing Industry Classification) Ver.1 を構築し、国際比較が可能な統計データ(4 桁製造業)の整備に取り組んでいる。この取り組みは、地域レベルで取り組む統計整備の先駆的事例として国連統計部 (UNSD) などからも、高く評価されている。

本報告書は、2009 年度に実施された EAMS の活動を報告すると共に、今後の課題に言及するものである。本報告書が東アジア地域における「国際比較が可能な産業統計」の整備に資する事が出来れば幸甚です。

財団法人 国際開発センター
RDI 室長 黒田 知幸

平成21年度東アジア大での産業統計国際比較データ整備事業 調査報告書 目次

略語一覧

第1章 本件調査の目的と活動

1.1 調査の目的	1-1
1.2 調査の基本方針	1-1
1.3 調査の内容	1-1
1.4 EAMS 成立までの経緯	1-2
1.5 EAMS 設立から今年度までの変遷	1-5
1.6 これまでの EAMS の概略	1-7
1.7 今年度調査のアプローチ及び調査実施体制	1-9

第2章 第4回東アジア製造業統計専門家会議(EAMS)

2.1 第4回 EAMS の概要	2-1
2.2 各国合意内容	2-3
章末資料	
1 第4回 EAMS 参加者リスト	2-6
2 議長サマリー	2-11

第3章 日中韓ワークショップ

3.1 日中韓ワークショップの目的・意義・活動	3-1
3.2 日中韓ワークショップの概要	3-2

第4章 EAMS ワークショップ(ジャカルタ)

4.1 ワークショップの概要	4-1
4.2 各国プレゼンテーションの概要	4-2
4.3 ECMAT データの提出の可能性	4-6
章末資料	
1 ワークショップ参加者リスト	4-7

第5章 日本のデータ提供準備について

5.1 JSIC Rev.11 と EAMIC Ver.1 の対応について	5-1
5.2 日本側のデータソース(メタデータ)	5-7
5.3 まとめ	5-9
章末資料	
1 日本工業統計の EAMIC Ver.1 対応表	5-11
2 複数対応部門の確定比例配分表	5-37

第6章 EAMS の進捗状況と将来の東アジア地域における課題

6.1 EAMS の進捗について	6-1
6.2 EAMS に関する内外からの評価	6-7
6.3 CLM3 カ国の現状について	6-7
6.4 将来の東アジア地域が抱える課題	6-8

巻末資料

- EAMIC Ver.1.0
- EAMIC Ver.1.0と工業統計 6 桁品目の対応表
- 1st EAMS - chair Summary
- 2nd EAMS - Co-chair Summary
- 3rd EAMS - Co-chair Summary

略語一覧／Abbreviations

略 語 Abbreviations		略 語 Abbreviations	
ACIC	ASEAN Common Industrial Classification	JPKE (Brunei)	Jabatan Perancangan Dan Kemajuan Ekonomi (Department of Economic Planning and Development, Prime Minister's Office)
ADB	Asian Development Bank	METI (Japan)	Ministry of Economy, Trade and Industry
AEM-METI	ASEAN Economic Ministers and METI Minister Consultations	MOI (Thailand)	Ministry of Industry
AHSOM	ASEAN Heads of Statistical Offices Meeting	NSCB (Philippines)	National Statistical Coordination Board
AHSOM-TFSC	AHSOM-Task Force on Harmonization of Statistical Classifications	NSIC	National Standard for Industrial Classification
AMEICC / WGS	AEM-METI Economic and Industrial Cooperation Committee / Working Group on Statistics	NSO (Philippines)	National Statistics Office
BPS (Indonesia)	Badan Pusat Statistik (BPS-Statistics Indonesia): (Non-Departmental Government Institution directly responsible to the President)	NSO (Thailand)	National Statistical Office
CLM(V)	Cambodia, Laos, Myanmar, (Vietnam)	Rev.	Revision
EAMIC	East Asia Manufacturing Industry Classification	SIDA	Swedish International Development Cooperation Agency
EAMS	East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics	UN-ESCAP	The United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
ECMAT	East Asia Manufacturing Industry Classification Data Matrix table	UNIDO	The United Nations Industrial Development Organization
ERIA	Economic Research Institute for ASEAN and East Asia	UNSD	The United Nations Statistics Division
GSO (Vietnam)	General Statistics Office		
ISIC	International Standard Industrial Classification of All Economic Activities		

第1章 本件調査の目的と活動

第1章 本件調査の目的と活動

1.1 調査の目的

調査の目的は、以下の2点である。

- (1) 東アジア各国との協働作業を通じて、東アジア地域の製造業統計国際比較に関する課題の抽出、分析を実施する
- (2) 国際比較が可能な製造業統計を整備するための調査・研究を行うと共に、同地域の特性を反映した東アジア製造業産業分類の構築、共通分類に基づく製造業統計データベースの構築に向けた共同研究に対して貢献する

1.2 調査の基本方針

調査の基本方針を以下に示す。

- (1) EAMSのTORに規定されたタイムフレーム(目標年度)を厳守する。
- (2) EAMSの活動に落伍する国を創出しない。特に、CLM諸国に対するサポートを念頭に置いた事業推進に努める。
- (3) アセアン+3諸国が協働して、国際比較が可能な東アジア地域の製造業統計の整備を推進する様に努める。
- (4) EAMSのメンバー国は、大きくアセアン諸国と日本、中国、韓国の3カ国(+3諸国)に大別される。基本的には、+3諸国はアセアン諸国をサポートするスタンスで本事業に携わる。そのためにも、+3諸国間における良好な協働関係の維持に努める。

1.3 調査の内容

今年度調査の概要と実施内容は以下のとおりである。

- (1) アセアン調査対象国に関する現地調査を通じた課題の発見、対処法の検討
ノンパイロット諸国の ECMAT に用いるデータの準備状況の確認、意見交換を実施し、円滑な作業の遂行を図る。
- (2) 中国及び韓国との産業統計国際比較性向上に向けた取組み
プラス3サイド(日中韓)のワークショップを開催し、EAMIC Ver.1 との変換に関する問題点の把握、ECMAT に適応する各国データの定義などを確認、課題の抽出・対処法の検討を行う。
- (3) 国際機関との連携、国際会議への事業報告
EAMS事務局の一員としてAHSOM10(2010年1月または2月に開催予定)に出席し、第4回EAMSでの協議事項を取りまとめたプレゼンテーションを実施、アセアン各国統計局長との意思疎通、連携を図る。
- (4) EAMSデータベースワークショップの開催
各国のデータ提供作業の進捗状況把握と、問題点及び課題対処法等に関する情報共有を

主目的としたワークショップを開催する。

2009 年度のEAMSメンバー国は、ECMATに格納する製造業統計データの作成作業に入り、実際に自国が保有するデータとEAMICのつき合わせを実施することになる。基本的には、2008 年度に実施したパイロット・スタディ(PS)の結果を活用するため、PS参加国以外が共通して直面する課題が存在するかどうか、提出データ項目(13項目)に関する問題点がないかどうか、といった観点から、EAMSデータベースワークショップの協議内容・運営方針を検討する。

(5) 東アジア製造業統計専門家会議(EAMS)の運営

EAMSは、13カ国(アセアン+3)が一同に会する唯一の機会である。平成20年度事業の成果である東アジア製造業4桁産業分類(EAMIC Ver.1)を各国に報告し、了解を得る。パイロットスタディ(PS)の結果報告にあたっては、PS参加国のチームリーダーによる発表を設けるなど、PS参加国における協働を強調し、EAMSメンバー国で構築したEAMICである旨を周知する。さらに、中長期ビジョン及び今年度作業の具体的イメージを、参加国全員で共有することによって、東アジア地域の製造業統計国際比較性向上の取組みを推進する。

1.4 EAMS成立までの経緯

(1) 平成14年～平成17年

1) 日ASEAN 経済産業協力委員会統計ワーキンググループ(AMEICC-WGS)

経済産業省は、2002 年より日ASEAN 経済産業協力委員会統計ワーキンググループ(AMEICC-WGS)を通じて日・アセアンの産業統計の国際比較性研究に着手し、ASEAN 諸国の産業統計とりわけ製造業統計の整備状況の確認と統計データの入手を試みてきた。

このAMEICC-WGS は本件調査の発端でもあり、以来、2009 年6 月にフィリピン・セブで開催された第8 回会合までの間(第6 回、第7 回と第8回はEAMSとの併催)に渡って、産業統計の国際比較性向上に向けての課題及びその解消に向けた取組みの必要性等について情報を共有し、本件調査と歩調を共にしている。

以下、平成17 年度調査までに関しては、このAMEICC-WGS に提出された調査内容を中心に本件調査のこれまでの活動の概要を述べる。

2) 平成14 年度(2002 年度)

件名「アセアン諸国における産業統計の現状及び今後の整備の在り方に関する調査」

a) 概要

- ・ ASEAN8 カ国(タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー)と日本を対象とし、産業統計の現状を把握して今後のアジア地域における産業統計分野の発展のあり方を検討
- ・ 特に国際比較性を念頭においた調査ではなく、幅広い産業統計の概要調査

b) 主な調査項目

産業統計の所管官庁及びその組織、「産業統計」の範囲、「構造統計」と「動態統計」の種類と概要など

c) 主要結果

- ・「産業統計」の捉え方には、大きく分けて、製造業のほか農業、漁業、サービス業など幅広い業種が含まれる国、製造業を中心に鉱業、電気・ガス・水道業、建設業などが含まれる国、製造業のみを対象とする国の3つのケースがあるが、全ての国で製造業統計が産業統計の中心的な位置付け
- ・使用産業分類は各国ともISIC Rev.3 準拠の分類又はISIC Rev.3 をそのまま適用、年次統計においては、ISIC を軸にした国際比較が可能かもしれないとの心証
- ・統計の定義や整備水準などについては、調査客体の違い(「事業所」と「企業」、事業所名簿の整備状況の違い、統計調査手法の違い(調査範囲の違い等)、組織力の違い(予算及び人員等)などが存在

3) 平成15 年度(2003 年度)

件名「アセアン諸国における産業統計の国際比較性に関する調査」

a) 概要

- ・対象国はASEAN10 カ国及び日本
- ・平成14 年度調査の結果を受け、アセアン域内での国際比較性の検討に着手。ただし、着眼点としては、年次の製造業統計に対象を絞り、かつ、数値比較以前に重要となる「統計作成方法」と「統計作成のための調査項目」の比較が主眼

b) 主な調査項目

- ・年次製造業統計について、調査実施方法、調査員の訓練方法、調査項目の定義・範囲、産業格付け方法等
- ・使用産業分類について、各国産業分類の概及び製造業分野におけるISIC Rev.3 との違い等

c) 主要結果

- ・統計調査方法に関しては、調査客体が「事業所」である国と「企業」である国が存在、各国の調査周期の違いによりASEAN 全域を同一年次で比較することは不可能、調査対象の規模区分(従業員規模)の違いにより全規模ベースでの国際比較は困難、資金・人材等の不足等により事業所名簿の整備が進んでいない国が存在などの問題
- ・産業分類に関する事項としては、ISIC Rev.3 をそのまま適用している国(カンボジア、ラオス、ミャンマーなど)とISIC Rev.3 に準拠した自国産業分類を適用している国(他の諸国)があるがいずれもISIC Rev.3 が介在
- ・結論として、統計調査方法を含めた厳密な意味での比較には数々の困難。この地域の産業統計国際比較を検討するアプローチとしてはISIC Rev.3(産業分類)をキーに置く

ことが有効か

4) 平成17 年(2005 年)(その1)

件名「アジア地域アセアン諸国における産業統計データの国際比較に向けた共通化の可能性調査」

a) 概要

- ・ 対象国はASEAN10 カ国及び日本
- ・ 製造業のうち3つの業種に着目、実際のデータに基づく試行的国際比較主な調査項目 ASEAN 全ての国に存在すると見込まれる業種の中から、各国意向に基づき以下3 業種を選定 (ISIC Rev.3 による)
- ・ 17 Textiles
- ・ 34 Motor Vehicles, Trailers and Semi-trailers
- ・ 361 Furniture

b) 主要結果

- ・ 全般的な事項として、全数調査・サンプル調査という調査手法の違いはあるが2000 年周辺ではほぼ全事業所を対象としたデータが得られデータ収集意義はある・調査項目の定義等については、付加価値額の算出方法など各国ともほぼ国際基準に従った概念・定義を用いていることが判明。少なくとも国際比較性の素地は十分に備わっている
- ・ 過去2回の調査でも明らかになった「事業所」と「企業」の違い等の問題のほか、現地通貨表示の比較を可能にする何らかの指標化の必要性など実際にデータ比較を試みる段階での新たな課題(特に関係者間のコンセンサスを要する事項)も予見

5) 平成17 年(2005 年)(その2)

件名「ASEAN 諸国の工業統計データの国際比較性の整備・共通化に関する調査研究」

a) 概要

- ・ 対象国はASEAN10 カ国及び日本
- ・ 調査領域を製造業の全業種に拡張し、製造業統計4 桁データ収集に着手
主な調査項目・製造業全業種のISIC Rev.3 ベースでの4 桁データ比較マトリクスの作成に着手
- ・ その評価を通じて国際比較性向上のための課題抽出

b) 主要結果

- ・ 実際に4 桁データを当てはめて仔細に評価すると、比較可能性が確保できる業種はかなり少なくなる。特にISIC と各国産業分類が複数対1 でしか対応しない(= 自国分類を括っている)場合は比較可能性が極端に低下・データを伴った実際の国際比較のためには4 桁レベルでの産業分類を運用面にまで降りて調査するとともに東アジア地域で共通して利用可能な製造業産業分類又はそれに変わるデータ提供時の何らかの

ルール作りが必要

1.5 EAMS設立から今年度までの変遷

(1) 平成18年(EAMS設立後)

1) 東アジア製造業統計専門家会議(EAMS)の創設

平成18 年度に至って、本件調査は一つの大きな転換点を迎えた。この年度における平成19 年1 月、ASEAN10 カ国と日本、中国、韓国の計13 カ国からなる「東アジア製造業統計専門家会議」(East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics:略称EAMS)が創設されたのである。

この会議体は、それまでのAMEICC-WGS における日ASEAN という枠組みから、ASEAN+3 地域へと対象地域を拡張するものであるが、これは単に地理的な意味での拡張というだけでなく、経済の相互依存関係という実態面でも、ある程度明瞭な「面」的一体性をもった地域であるという点で極めて重要である。

中国、韓国を含めて、本件調査における各国政府統計部局は(表1-1)のとおりとなり、以来、これら機関の相互協力によって本件調査が遂行されている。

表1-1 EAMS参加機関

国	組織	国	組織
ブルネイ	首相府統計局(JPKE)	ミャンマー	中央統計局(CSO)
カンボジア	統計局(NIS)	フィリピン	統計局(NSO)
中国	国家統計局(NBS)	韓国	統計庁(SK)
インドネシア	中央統計局(BPS)	シンガポール	政府経済開発協議会(EDB)
日本	経済産業省調査統計部	タイ	統計局(NSO)
ラオス	統計局(DOS)		工業省(MOI/OIE)
	商工業省(MOIC)	ベトナム	統計局(GSO)
マレーシア	統計局(DOS)	(事務局)	経済産業省調査統計部
			アセアン事務局

2) 調査のスタンス

EAMS という議論の「場」が創設されたことにより、調査のスタンスは、これまで以上に明確化された。すなわち、調査は、このEAMS の効果的な運営を通じてASEAN+3 地域の製造業統計の国際比較性を高め、将来的には、それを実用的なデータベースに集約するなどの手段により、同地域を「面(地域)」として捉えた場合の統計基盤の整備に貢献するということである。

それは、2007 年1 月の第1 回会議(東京)、それに続く同年7 月の第2 回会議(ラオス: ビエンチャン)を通じてより具体化され、現在に至っている。

3) EAMS の活動範囲

EAMS の具体的な活動範囲は、東京での初回会議で採択されたTOR(Terms of Reference)及びワークプログラム(Work Program)により、およそ以下の各点に集約することができる。

- ・ 製造業統計マトリクスを活用した国際比較上の課題明確化と各国共通認識の醸成
- ・ 製造業4 桁産業分類の構築に向けた参加国による共同研究の開始・展開
- ・ モデル国によるPilot Study 展開(特に4 桁産業分類の構築に焦点を当てたものとして)
- ・ 参加国によるISIC Rev.4/ACIC ベース4 桁製造業統計データのEAMS 事務局への提供
- ・ 同地域におけるキャパシティー・ビルディング・プログラムの継続的实施
- ・ 参加国の製造業統計担当部局間のネットワーク構築と維持

4) 国連からも注目を浴びるEAMS の取組み

従前から結びつきが強く、会合を重ねてきたASEAN10 カ国によるAHSOM(ASEAN統計局長会議) の取組みを別にすれば、統計実務者レベルが、実際の作業を念頭に置いて、日・中・韓を加えた形で定期的に参集するという機会はEAMS 以前には無く、その意義は国連統計部(UNSD)などからも高く評価されている。これまで各地域レベルへの統計世界標準の浸透に苦慮してきたUNSD としては、EAMS が地域的な取組みとして発足し、かつ、比較的順調にその歩みを進めていることに高い関心を有している。

5) 平成18 年度調査の概要

平成18 年度調査の最大の意義は、EAMS の創設に代表されるとおり、過去の調査の集約と将来に向けての参加国枠組みの転換及び活動方向性の明確化であった訳だが、調査活動そのものとしては、以下のような整理が可能である。

- ・ 調査対象地域に中国・韓国を加え、製造業統計4 桁データ(ISIC Rev.3 ベース)に基づくこの時点での製造業統計国際比較性の現状に関する情報を整理。これをもって、ASEAN+3 の統計実務家の間で、製造業分野の国際比較性に向けての取組みを合意・これまでISIC Rev.3 をキーにした調査が行われてきたが、東アジア地域の経済特性を十分反映する必要性と、東アジア地域以外との国際比較性をも視野に入れる必要性の両面から、国連統計部(UNSD)にて見直し作業が進んでいるISIC Rev.4 をキーとした国際比較性を中心に据える
- ・ ASEAN+3 における国際比較性の現状は、決して高い水準にない(表1-3)
- ・ 国際比較性向上の取組みとして、先ず、同地域で共通して利用可能かつ同地域の経済特性を反映し得る製造業4 桁産業分類の構築を優先、そのため域内から数カ国のモデル国を選出し、Pilot Study を開始

(2) 平成19 年度調査の概要

平成19 年度調査の主要部分は、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムの4 カ国による Pilot Study の進展によってもたらされた。特に東アジア製造業産業分類のドラフト(Draft EAMIC)を作成することができたことは作業面での大きな進捗であった。また、産業分類だけでなく、データの収集項目(案)や、データの特徴を記述する情報であるメタ・データの収集も検討されており、将来的な製造業統計データベースの方向性を示し始めるものとなっている。

この年度の調査においてDraft EAMICの概要が形成され、さらにDraft EAMICによるデータ提供項目案、および収集すべきメタ・データ項目案(Metadata Dimension)ができあがった。

(3) 平成20年度調査概要

平成20年度の最大の成果は、2度目のPilot Study の実施の成果として、Draft EAMIC Ver1が完成したことである。また、期の途中からERIA との連携を図りつつCLM 諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー)の統計キャパシティー・ビルディングにも着手した。また、セミナー形式によるキャパシティー・ビルディングも実施した。

第3 回EAMS(2008 年5 月:北京)において、Draft EAMIC 本体とその作成に係るディスカッションプロセス、また、収集予定データ項目(12 items)とメタ・データ項目がそれぞれ発表された。これらは昨年度のPilot Study の結果の報告として行われたものである。この報告をもって初めてEAMS 参加国(13 カ国)の全てでEAMIC に関する情報が共有された。同時に、Non-Pilot 9カ国からのfeedback を行うことが強く推奨され、各国から了承された。

2年度目となるPilot Studyも第1 回ワークショップ(Hanoi, Vietnam)、第2 回ワークショップ(Manila, the Philippines)開催され、上記のフィードバックも活かされ、最終的に4 カ国統計局によるハイレベル・ミーティング(Chiang Mai, Thailand)にてドラフトEAMIC Ver.1として承認された。

1.6 これまでのEAMSの概略

(1) 第1回会議

1) 開催日時 2007年1月22日～23日

2) 場所 東京 三田共用会議所

3) 主な参加者

- ・ ASEAN+3(13 カ国)製造業統計所管組織代表(各国1名、複数組織の場合は各組織1名)
- ・ Dr. Paul Cheung 国連統計局長(ゲスト)
- ・ 事務局(日本経済産業省、ASEAN 事務局、(株)日立総合計画研究所)

4) 主要結果 ・EAMS の創設

- ・TOR とWork Program の採択

－ ISIC Rev.4 をベースとした地域共通の4 桁産業分類(製造業分野)の整備を主眼とする

こと

- 上記研究のため、モデル国によるPilot Study を行うこと
- キャパシティー・ビルディングを重視すること
- 製造業統計担当組織同士のネットワークを構築・維持すること

(2) 第2回会議

- a) 開催日時 2007年7月3日～5日 ※うち1日は第6回AMEICC-WGS
- b) 場所 ラオス ビエンチャン市 (Lao Plaza Hotel)
- c) 主な参加者
 - ・ ASEAN+3 (13 カ国) 製造業統計所管組織代表 (各国2名、複数組織の場合は各組織2名。内訳は、産業分類担当1名、製造業統計担当者1名。)
 - ・ ラオス工商業省及びラオス統計局職員約30名 (会議傍聴)
 - ・ 事務局 (日本経済産業省、ASEAN 事務局、(株)日立総合計画研究所)
- d) 主要結果
 - ・ Pilot Study 参加国の決定 (インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム)
 - ・ 中期的 (2010年度まで) のEAMS 全体計画の提示
 - ・ キャパシティー・ビルディングに関し、ASEAN 事務局及び当事国 (CLM代表) から自国産業分類作成のための技術支援要請

(3) 第3回会議

- 1) 開催日時 2008年5月28日～30日、第7回AMEICC-WGS との並列開催
(1日目:EAMS、2日目:AMEICC-WGS、3日目:共通 ※第2 回会合同形式)
- 2) 場所 中国 (北京) ノボテル ホテル
- 3) 主な参加者 (約40名)
 - ・ ASEAN+3 (13カ国) 製造業統計所管組織代表 (各国2名、複数組織の場合は各組織2名。内訳は、産業分類担当者1名、製造業統計担当者1名。局長級5名を含む。)
 - ・ 清水雅彦 慶応大学教授 (ゲスト)
 - ・ 経済産業省調査統計部、ASEAN 事務局、JODC バンコク、(株)日立総合計画研究所
- 4) 主要結果
 - ・ Pilot Study国からのDraft EAMIC報告発表およびNon-Pilot国からのフィードバックの要請
 - ・ Pilot Studyを含め、EAMS全体としての2010 年までの活動計画の再確認
 - ・ ERIA 事業の説明及びEAMS 事業との連携

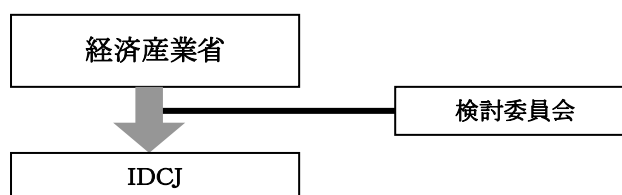
1.7 今年度調査のアプローチ及び調査実施体制

(1) 調査実施体制

1) 体制図

本調査の実施体制は以下のとおりである。

図1-2 調査体制図



(注)「IDCJ」:財団法人 国際開発センター

① 調査団

本件調査の団員は以下のとおりである。

表1-3 本件調査にかかる調査団員

氏名	担当業務	所属
① 黒田 知幸	業務主任	IDCJ RDI 主任研究員
② 中村 康	国内／現地調査	IDCJ RDI 主任研究員
③ 佐々木 宏子	国内／現地調査	IDCJ RDI 主任研究員
④ 長谷川 祐輔	国内／現地調査	IDCJ 研究員
⑤ 柴沼 晃	国内／現地調査	IDCJ RDI 研究員
⑥ ペデレスチ・メリッサ	国内／現地調査	IDCJ RDI 研究員
⑦ 宇津木 絵	国内調査サポート	IDCJ 研究補助員

(注)「IDCJ」:財団法人 国際開発センター

「RDI」:Regional Development Institute

② 検討委員会

本件調査への専門的アドバイス及び本件調査の客観性・妥当性の確保を目的とした有識者による検討委員会を年3回開催する。なお、その委員構成は以下のとおり。

委員長 : 清水雅彦 慶應義塾大学経済学部常任理事
 副委員長 : 木村福成 慶應義塾大学経済学部教授
 委員(50 音順) : 安藤光代 慶應義塾大学商学部准教授
 王在喆 立正大学経済学部教授

田辺孝二 東京工業大学大学院教授

玉村千治 日本貿易振興機構(JETRO)アジア経済研究所
研究企画部長

森野康男 (社)経済産業統計協会専務理事

(2) 調査実施スケジュール

調査スケジュールの詳細は、次のとおりである。

本件事業の実施スケジュール

時期 項目		2009年									2010年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フェーズ			▲契約	4 th EAMS 企画・実施	4 th EAMS 結果整理	Non-Pilot Study 国へのフォロー		+3WS 企画・実施	EAMS データベース WS 企画・実施		最終報告書 ▲		
委員会						④第1回検討委員会				⑦第2回検討委員会	⑪第3回検討委員会		
国内作業			・ 4 th EAMS にむけての詳	・ 委員会設置等の体制準備 ・ 4 th EAMS 結果整理	・ アセアン3カ国現地調査の詳細準備		+ 3 WS 詳細企画、準備		・ EAMS データベースWS詳細企画、準備 ・ +3WS 詳細企画、準備		・ 来年度以降の方針検討 ・ 最終報告書のとりまとめ		
現地調査	アセアン		①アセアン事務局			⑤アセアン3カ国							
	中国、韓国		②中国・韓国現地調査			・ ブルネイ、マレーシア、シンガポール ・ EAMIC のデータ提供について協議							
	フィリピン		・ EAMIC 素案の事前協議 ・ 4 th EAMS 運営方針調整					⑥+3WS (韓国)					
	インドネシア										⑨EAMS データベースWS (インドネシア)		
EAMS				△ (フィリピン) ③第4回 EAMS									
(参考) AMEICC AHSOM				△ AMEICC-8 EAMS と併催						△ ⑧AHSOM (タイ)			

第2章 第4回東アジア製造業統計専門家会議(EAMS)

第2章 第4回東アジア製造業統計専門家会議(EAMS)

2.1 第4回 EAMS の概要

(1) 開催概要

1) 日時・場所

2009 年 6 月 9 日～11 日、 フィリピン(セブ)、 ヒルトンセブホテル

2) 開催形式

第 8 回 AMEICC-WGS との並列開催

(1 日目 AMEICC-WGS、2 日目 EAMS、3 日目 共通)

フィリピン統計局長エリクタ氏と経済産業省調査統計部国際室長村上氏による共同議長

3) 参加者

a) 会議メンバー(約 40 名)

・ ASEAN+3(13 カ国) より各 2 名(中国、シンガポールは 1 名)、うちインドネシア、タイ、フィリピン、ベトナムからは局長クラス、タイは工業省からも 2 名、ラオスは統計局、商工業省から各 1 名の参加、フィリピンはホスト国のため 6 名の主要メンバーの参加があった

b) ゲスト

・ UNIDO

c) 事務局

・ 経済産業省調査統計部、ASEAN 事務局、JODC バンコク、国際開発センター
(参加者リストは別添)

(2) プログラム概要

第 1 日目 (AMEICC)

－AMEICCの活動報告

－商業統計の各国の現状報告

－商業統計に関する問題点と今後の計画

－商業統計の国際比較性に向けての取り組み

－AMEICCの今後の活動予定

第 2 日目 (EAMS)

－ASHOMとEAMSの活動報告

－NSIC4桁レベルの製造業統計データの整備状況

－パイロット4カ国の活動報告(2年間の活動)

－パイロット調査の結果報告

－EAMIC Ver. 1の説明(フィードバックを反映して)

－ECMAT FORMATの説明

－CLM諸国のNSIC 作成状況報告

－EAMSの今後の活動予定

－地域および国際比較性に必要な製造業統計の品質について(ゲストスピーカー)

第3日目(共通)

－議長サマリーの採択(AMEICC／EAMS)





2.2 各国合意内容

最初にアセアン事務局から、第3回 EAMS のアウトカムとしてのパイロット、ERIA のキャパシティ・ビルディング・プロジェクトとしての CLM の NSIC 開発に関して ASHOM としても高く評価しているとの報告があった。

(1) EAMIC Ver.1 の承認

本会議の最大の目標はパイロット国が中心となって作成されたドラフト EAMIC を正式分類としてメンバー国の承認を得ることであった。

会議では、EAMS 事務局から前年度に実施されたパイロットスタディの概略と、ドラフト版の完成に至る経緯について説明が行なわれ、パイロットスタディ国を代表してタイの統計局副局長ジラワン氏より、ASEAN+3 の共通の産業分類の作成の背景、意義などについての発表があり、EAMIC と ECMAT の作成に当たり、METI のサポートに感謝の意が表された。

つづいてパイロット国であるインドネシア、フィリピン、タイがそれぞれの製造業データを自国分類から EAMIC の4桁レベルに変換する際に直面した問題点とその解決方法についての報告、また、パイロット国の一つであるベトナムはメンバー国で唯一 ISIC Rev.4 に準拠する自国分類 (VSIC2007) をすでに作成しており、かつ EAMIC との変換表を作成した経験についての報告が行なわれた。

最後に、パイロット国を代表してインドネシアから昨年度作成したドラフト EAMIC から Non-pilot 国のフィードバックを反映させ、最終的に EAMIC Ver.1 を完成させたとの報告がなさ

れ、全メンバー国の承認を得た。

(2) EAMS の今後のワークプランの再確認

事務局より EAMS の残りの 2 年間(2009 年度と 2010 年度)の全体計画(図 2-1 参照)およびタイムフレーム(図 2-2 参照)についての再確認を行い、会議の了承を得た。具体的なアクションとしては次の通りである。

- 1) Non-pilot 国においては、2010 年 2 月に開催予定のワークショップで議論できるように、2009 年に EAMIC Ver.1 に基づいて製造業データを変換する作業を開始すること。
- 2) すべてのメンバー国は、2010 年 12 月までに ECMAT データとメタデータの提出すること。
なお、ECMAT の 12 項目について、ゲストスピーカーである UNIDO の Mr. Shyam B. Upadhyaya より、Gross addition to the fixed assets も重要な要素なので追加してはどうかとの提案があり、メンバー国全員の同意を得て 13 項目とすることになった。
- 3) メンバー各国におけるデータの EAMIC Ver.1 への変換テーブルの作成および変換作業に関しての問題点等の共有を図るため、2010 年 2 月にインドネシアでワークショップを開催する。

(3) CLM 諸国の NSIC 開発状況報告

CLM 諸国からは ERIA のキャパシティ・ビルディング・プロジェクトとして現在行なっている製造業に関する NSIC の開発状況が順調に進んでいること、また自国の分類を作成することが製造業統計の国際比較性を高めることのこの報告があった。またアセアン事務局から、この取組みについて ASHOM でも高く評価しているとのコメントがあった。これは EAMS のキャパシティ・ビルディングの一環として EAMS において開始し、現在 ERIA にて引き続きサポートを継続しているプロジェクトであり EAMS と ERIA のコラボレーションとして評価できるものである。

(4) 第 5 回 EAMS の開催(最終会議)

韓国から、国内の承認を得たのち、次回 EAMS(ならびに第 9 回 AMEICC WGS)を 2011 年 2 月に韓国のデジュンで開催したい旨の提案があり、EAMS の賛同を得た。

(5) その他

UNIDO からゲストスピーカーとして招聘された Mr. Shyam 氏から地域比較、国際比較の重要性に焦点をあてた製造業統計の品質保証に関する公演が行なわれ、同氏から、EAMS は各 NSO を共通の土俵に乗せて、国際標準の実践を図っている、とのコメントがあった。

図2-1 ワークプラン(2009 年度および 2010 年度)

		FY 2007	FY 2008	FY 2009	FY 2010
EAMS	Pilot Study Countries	<ul style="list-style-type: none"> ➢ Formulation of Draft EAMIC ➢ Data Items ➢ Metadata dimension 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ Review of Draft EAMIC ➢ Output <ul style="list-style-type: none"> - EAMIC Ver. 1 - Draft ECMAT - Metadata Dimension 		Preparation and submission of data and metadata in accordance with ECMAT by All member countries
	Non Pilot Study Countries		<ul style="list-style-type: none"> Feedback on Draft EAMIC 	Recoding of Manufacturing data by EAMIC Ver. 1 by all non pilot study countries based on data presented at the 4 th EAMS	
	All Countries	Status of implementation of ISIC Rev.4 (reported at 2nd EAMS)	Status of implementation of ISIC Rev.4 (reported at 3 rd EAMS)	Construction of respective NSIC / EAMIC Ver. 1 correspondence table	

図2-2 今年度以降の活動のタイムフレーム

Year	Event	Work Activities
2009	4th EAMS (June 2009)	➢ Recoding of manufacturing data by EAMIC Ver. 1 and construction of NSIC / EAMIC Ver. 1 Correspondence Table
2010	EAMS Workshop (Feb. 2010)	➢ Sharing experiences among member countries in the issues and problems encountered during the recoding exercise and the construction of correspondence table
		➢ Manufacturing Data submission by using ECMAT with metadata
	5th EAMS (Early 2011)	

章末資料:

1 第4回 EAMS 参加者リスト

(The Co-chairs)

JAPAN

Mikihito Murakami (Mr.), Director

Public Relations and International Affairs Office

Research and Statistics Department

Economic and Industrial Policy Bureau

Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

THE PHILIPPINES

Carmelita N. Ericta (Ms.), Administrator

National Statistics Office

BRUNEI

Pg. Hj. Osman bin Pg. Hj. Hashim (Mr.), Acting Director of Statistics

Department of Economic Planning and Development (JPKE)

Hj. Mohammad Hj. Alias (Mr.), Statistician

Department of Economic Planning and Development (JPKE)

CAMBODIA

Kanthul Mich (Mr.), Director

Department of Economic Statistics

National Institute of Statistics

Ministry of Planning

Vanndy Nor (Mr.), Vice Bureau Chief

General Statistics Department

National Institute of Statistics

Ministry of Planning

CHINA

Weining Yu (Ms.), Senior Program Officer

Industry Statistics

Department of Industry and Transportation

National Bureau of Statistics of China

INDONESIA

Dr. Subagio Dwijosumono (Mr.), Deputy Director General
BPS-Statistics Indonesia

Dr. Mudjiandoko (Mr.), Director
Industrial Statistics
BPS-Statistics Indonesia

JAPAN

Yoshinori Kaneko (Mr.), Deputy Director
Public Relations and International Affairs Office
Research and Statistics Department
Economic and Industrial Policy Bureau
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

Asuka Murayama (Ms.), Assistant Director
Public Relations and International Affairs Office
Research and Statistics Department
Economic and Industrial Policy Bureau
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

LAO PDR

Bounmy Vilaychithv (Mr.), Director
Statistics Methodology Division
Department of Statistics
Ministry of Planning and Investment

Sengphet Sengmeuang (Ms.), Officer
Ministry of Industry and Commerce

MALAYSIA

Dzulfakar bin Ahmad (Mr.), Director
Industrial Production and Construction Statistics Division
Department of Statistics Malaysia

Fuziah Md. Amin (Ms.), Senior Assistant Director
Services Statistics Division
Department of Statistics Malaysia

MYANMAR

Aung Myint Than (Mr.), Deputy Director

Central Statistical Organization

Phyu Phuy Khin Than (Ms.), Assistant Director
Central Statistical Organization

THE PHILIPPINES

Estela T. De Guzman (Ms.), Director
National Statistics Office

Dulce Regala (Ms.), Officer-In-Charge
Industry Statistics Division

National Statistics Office

Katrina Gonzaga Esclamed (Ms.), Division Chief
Business and Services Statistics Division
National Statistics Office

Ariel Estacion Florendo (Mr.), OIC Regional Director, Regional Office VII
National Statistics Office

Firmo Calingacion Diputado (Mr.), Provincial Statistics Officer, Province of Cebu
National Statistics Office

REPUBLIC OF KOREA

Seong-IL Cho (Mr.), Deputy Director
Statistics Policy Bureau
Korea National Statistical Office

Sang-Ik Son (Mr.), Deputy Director
Statistic Research Institute
Korea National Statistical Office

SINGAPORE

Huimin Cui (Ms.), Senior Assistant Director
Business Statistics Division
Singapore Department of Statistics

THAILAND

Jirawan Boonperm (Ms.), Deputy Secretary General
National Statistical Office

Kanjana Phumalee (Ms.), Statistician

Statistical Standard Group
National Statistical Office

Piyanuch Siriyaporn (Ms.), Chief
Office of Industrial Economics
Ministry of Industry

Somchai Champathong (Mr.), Office of Industrial Economics
Ministry of Industry

VIETNAM

Nguyen Bich Lam (Mr.), Deputy Director General
General Statistics Office of Vietnam (GSO)
Ministry of Planning and Investment (MPI)

Tran Tuan Hung (Mr.), Deputy Director
Department of Statistical Standard and Methodology
General Statistics Office of Vietnam (GSO)
Ministry of Planning and Investment (MPI)

(Guest Speaker)

Shyam B. Upadhyaya (Mr.), Chief Statistician
Research and Statistics Branch
UN Industrial Development Organization (UNIDO)

(Secretariat)

ASEAN SECRETARIAT

Dr. Agus Sutanto (Mr.), Head of Statistics Unit
ASEAN Secretariat

AMEICC SECRETARIAT

Izuru Kobayashi (Mr.), Representative
AMEICC Secretariat
Japan Overseas Development Corporation (JODC)

Ryoichi Miyazaki (Mr.), Deputy Representative
AMEICC Secretariat
Japan Overseas Development Corporation (JODC)

Nathinee Tanyuwardhana (Ms.), Coordinating Officer
AMEICC Secretariat

Japan Overseas Development Corporation (JODC)

Sawitree Siripanya (Ms.), Coordinating Officer

AMEICC Secretariat

Japan Overseas Development Corporation (JODC)

EAMS SECRETARIAT

Machiko Oguchi (Ms.), Assistant Director

Public Relations and International Affairs Office

Research and Statistics Department

Economic and Industrial Policy Bureau

Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

IDCJ

Yasushi Nakamura (Mr.)

Yusuke Hasegawa (Mr.)

Melissa Pedreschi (Ms.)

Quah Pin Pin (Ms.)

**The Eighth Meeting of AMEICC Working Group
on Statistics (WGS)
and
The Fourth East Asia Expert Meeting
on Manufacturing Statistics (EAMS)**

9 - 11 June 2009, Cebu, the Philippines

JOINT CO-CHAIRS SUMMARY

1. The Eighth Meeting of AMEICC Working Group on Statistics (AMEICC WGS), hereinafter referred to as “AMEICC WGS Meeting” and the Fourth East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics (EAMS), hereinafter referred to as “EAMS”, were held from 9 to 11 June 2009 in Cebu, the Philippines. Both meetings hereinafter are referred to as “the Meetings”.
2. The Meetings were attended by representatives from all ASEAN Member States (AMS), China, Japan, Republic of Korea, ASEAN Secretariat, AMEICC Secretariat and EAMS Secretariat. A representative from UNIDO also attended as a guest speaker. The list of Participants appears in **Document 1**.
3. The Meetings were co-chaired by Ms. Carmelita N. Ericta, Administrator, National Statistics Office, the Philippines, and Mr. Mikihiro Murakami, Director, Public Relations and International Affairs Office, Research and Statistics Department, the Ministry of Economy, Trade and Industry (hereinafter referred to as “METI”), Japan. Both Co-chairs extended their warmest welcome to all participants in their opening remarks.
4. The Meetings adopted the Agenda, which is attached hereto as **Document 3**.
5. Ms. Estela de Guzman and Mr. Ariel Florendo of the National Statistics Office, the Philippines welcomed the participants and briefed the Meetings on the business arrangements.

I. AMEICC WGS Meeting (9 June 2009)

(a) Report on the Overall activities of AMEICC

6. AMEICC Secretariat briefed the AMEICC WGS Meeting on the recent developments of AMEICC activities. AMEICC Secretariat's paper is attached as **Document 4**.

(b) Distributive Trade Statistics

(b-1) Country Presentation on Distributive Trade Statistics, Program, Issues and Plan

7. Respective ASEAN Member States (AMS), Japan and Republic of Korea reported on their current status of distributive trade statistics, including coverage, survey methodology, and related issues. The Meetings acknowledged the paper submitted by China on the topic. The AMEICC WGS Meeting further exchanged information and views on data collection, data dissemination and survey methodology. The countries' presentations are attached as **Documents 5-1 to 5-13**.

(b-2) Current Status of Distributive Trade Statistics (DTS) in ASEAN+ 3

8. Japan presented the summary of findings from the two questionnaires on DTS Compilation Practices and the Data Availability. Japan's paper is attached as **Document 6**.

(c) Issues and Challenges towards Comparable DTS in ASEAN

9. ASEAN Secretariat briefed the AMEICC WGS Meeting on the importance of regional cooperation towards development of comparable DTS. The paper is attached as **Document 7**.

(d) Other Matters

(d-1) Future Work of AMEICC/WGS

10. The AMEICC WGS Meeting agreed to continue to discuss DTS in the next Meeting.

(d-2) Seminar on industrial statistics in FY2009

11. Japan explained that with the seminar held in Singapore in the last fiscal year, one round of the Industrial Statistics Seminar has been completed. Hence it will no longer be undertaken under AMEICC. However Japan International Cooperation Agency (JICA) will continue to provide training course on industrial statistics in Japan as part of its technical cooperation. The Meeting agreed that the future focus would be on capacity building for the CLM countries undertaken in the framework of ERIA.

II. EAMS Meeting (10 June 2009)

(e) Report on the Overall activities of AHSOM

12. ASEAN Secretariat briefed the EAMS on the recent activities under the purview of ASEAN Heads of Statistical Offices Meeting (AHSOM), and the decisions made at the 9th AHSOM. ASEAN Secretariat explained among others, Sustainable Framework for the Development of ASEAN Statistics (Broad Framework), Working Group on Data Sharing, Analysis, Dissemination and Communication of Statistics (WGDSA), regional cooperation on system of national accounts (SNA), and the progress of the ACIC implementation, which are currently ongoing under AHSOM initiative.

13. ASEAN Secretariat reported that AHSOM appreciated the outcome of the 3rd EAMS which had agreed on the work program for the EAMS Pilot Study to be implemented in collaboration with ERIA. AHSOM also acknowledged the important development of NSIC based on ISIC Rev. 4 in the CLM countries as part of the capacity building program provided by ERIA. ASEAN Secretariat's paper is attached as **Document 9**.

(f) Report on the Overall activities of EAMS

14. EAMS Secretariat provided an overview of the concept and objectives of EAMS, and the results of the first, second and third EAMS. EAMS Secretariat also reported on its activities in the preceding year including the second-year Pilot Study where the EAMIC Ver.1 was finalized. EAMS Secretariat's paper appears as **Document 10**.

(g) Country Report on Manufacturing Data and Metadata based on Current NSIC at 4-digit level and Issues related to the Data

15. The non-Pilot Study countries presented the current status and relevant issues of manufacturing data and metadata based on their current NSIC at 4-digit level. EAMS noted the reports with appreciation. Their presentations are attached as **Document 11-1 to 11-9**.

(h) Report on the Overall Activities of the EAMS Pilot Study

16. EAMS Secretariat cum Pilot Study Facilitator briefed the EAMS on the overall activities of the EAMS Pilot Study. She outlined the process of finalizing EAMIC Ver. 1 including recoding NSIC data to EAMIC. Her paper appears as **Document 12**.

(i) Report on the Results of the Pilot Study

(i-1) An Overview

17. Thailand reported to the EAMS on the background and objective of EAMS, its expected outputs and benefits, focusing on the importance of establishing a harmonized regional common industrial classification among ASEAN+3 countries. She, on behalf of the Pilot Study countries, expressed their appreciation to METI, Japan for its support with the development of EAMIC and East Asia Comparative Manufacturing Matrix Table (ECMAT) in the Pilot Study. Thailand's paper appears as **Document 13**.

(i-2) Pilot Study Countries Experiences

18. Indonesia, the Philippines and Thailand reported to the EAMS on their experiences in recoding the manufacturing data from their respective NSIC to EAMIC at 4-digit level, as well as the problems encountered and their solutions. The Pilot Study countries' papers appear as **Document 14-1 – 14-3**.

(i-3) VSIC 2007 & EAMIC Correspondence Table

19. Vietnam reported to the EAMS their experience on the creation of the correspondence table between VSIC 2007 and EAMIC. He briefed the status of VMIC and the proposed correspondence table. He also explained about the difficulty in converting data since there are many cases of one-to-many relationship between VMIC and EAMIC classifications. Vietnam's paper appears as **Document 15**.

(i-4) The EAMIC Ver.1

20. Indonesia reported to the EAMS on changes made to the draft EAMIC based on the feedbacks received from the non-pilot study countries as well as the input from the pilot study countries. He acknowledged the contribution of non-Pilot Study countries in the process of developing EAMIC Ver.1 on behalf of the Pilot Study countries. Indonesia's presentation is attached as **Document 16**.

(i-5) The ECMAT Format

21. EAMS Secretariat explained to the EAMS about the key data items and the ECMAT format for manufacturing statistics agreed on by the Pilot Study countries. EAMS Secretariat also stressed the need for metadata for the manufacturing statistics. EAMS confirmed the adoption of ECMAT containing the 12 key data items developed by the Pilot Study countries based on EAMIC Ver.1. EAMS also agreed to include gross addition to the fixed assets as suggested by UNIDO as a thirteenth data item. EAMS expressed deep appreciation for the efforts and contribution of the Pilot Study countries. EAMS Secretariat's presentation is attached as **Document 17**.

(j) Country Presentation on the Development of NSIC (Manufacturing Sector) based on ISIC Rev.4

22. CLM countries reported to the EAMS on the development of their respective NSIC (Manufacturing Sector) at 5-digit level based on ISIC Rev.4 and EAMIC. Respective countries explained the progress of developing NSIC under the ERIA capacity building project. CLM countries also reconfirmed the importance of developing NSIC to promote harmonization of internationally comparable manufacturing statistics. The CLM countries' presentations appear as **Document 18-1 to 18-3**.

(k) Future work of EAMS

23. EAMS Secretariat presented the future work plan for FY2009 and FY2010 and the time frame for collecting manufacturing data adopting the ECMAT format based on EAMIC Ver.1 at 4-digit level. EAMS Secretariat explained that in FY2009 non-Pilot Study countries will be requested to recode the manufacturing data based on EAMIC Ver. 1 for discussion at the workshop planned to be held in February 2010. EAMS Secretariat also

requested all the member countries to update the ECMAT data and metadata by December 2010 in preparation for the 5th EAMS. EAMS agreed on the proposed work plan and the time frame for preparing and submitting data and metadata. EAMS Secretariat's presentation appears as **Document 19**.

(m) Quality Assurance of Manufacturing Statistics in Terms of International Comparability

24. Mr. Shyam Upadhyaya, Chief Statistician of the United Nations Industrial Development Organization (UNIDO) presented the quality assurance of manufacturing statistics highlighting the importance of regional and international comparability. Mr. Upadhyaya explained UNIDO's experience of ensuring international comparability by adopting the stage-wise transformation of collected data, metadata system, and supplementary tables at the macro-level. He also noted that EAMS is very much on track in bringing NSOs to a common platform in implementing international standards, in reply to the query of the Co-Chair. His presentation material appears as **Document 21**.

(n) Other Matters

Date and venue of the next meeting

25. The Meetings expressed their appreciation to the Republic of Korea for offering to host the Fifth EAMS and the Ninth AMEICC WGS Meeting in February 2011, subject to the final approval of the Government of the Republic of Korea.

(o) Acknowledgement

26. The Meetings expressed sincere thanks and appreciation to the Government of the Philippines, in particular the National Statistics Office, for the excellent arrangements and warm hospitality.

第3章 日中韓ワークショップ

第3章 日中韓ワークショップ

EAMS の活動は、参加国が EAMIC Rer1.0 に合わせてデータを拠出する段階にある。EAMIC は、ASEAN 諸国の産業特性を中心に構成している事から、日中韓三カ国は自国の分類と EAMIC 間の変換を実施する同様の作業を必要とする。

3.1 日中韓ワークショップの目的・意義・活動

(1) 目的

日中韓の意見交換の場を構築することを目的とする。

(2) 意義

EAMIC はアセアン主導で作成したため、日中韓において EAMIC の基本コンセプトを確認する場を持てなかった。EAMIC が完成した段階で、データ拠出準備に関する意見交換を実施した意義は大きい。

(3) 活動

EAMIC に基づく4桁統計データマトリクス(ECMAT:仮称)へのデータ準備を各国間で意見等交換を実施しながら実現するためのネットワークの構築。

(4) 日中韓WSの実施は、以下の利点を伴う。

- ・ 産業分類(製造業)における日中韓の相違点に関して、各国統計局がもつ知見をバイアスなしに議論する事が出来る
- ・ データ挿入を見据えて、実務面での対応可能性・現実性等を議論する事が出来る
- ・ 5桁、6桁を有する+3サイドの知見を集約する事が可能となる
- ・ 大きな負荷を統計局に強いることなく、データ拠出を実施するための方策を、まずは+3サイドで検討し、データ準備の遅れる後発アセアン諸国に伝える事が可能となる

表 3-1 +3(日中韓)ワークショップの構成

Pilot 国	組織
日本	経済産業省
中国	中国国家統計局
韓国	韓国統計庁
事務局	EAMS 事務局(経済産業省) IDCJ

3.2 日中韓ワークショップの概要

(1) 開催概要

1) 日時・場所

2009年11月11日～12日 韓国統計庁(KNSO) 統計研究院内

2) 参加者

CHINA National Bureau of Statistics of China

Ms. Xiaohui Wang, Director, Division of General Affairs, Department of Industry Statistics

Ms. Yunhong Ba, Deputy Director, Division of Statistical Standards

Department of Statistical Design and Management

REPUBLIC OF KOREA Statistics Korea

Mr. Cheol-Hwan Seo, Director General, Statistics Research Institute

Dr. Seong Ho Han, Director, Economic Statistics Division, Statistics Research Institute

Dr. Kyusoong Chung, Deputy Director, Economic Statistics Division

Mr. KiJae Choi, Economic Statistics Division, Statistics Research Institute

Mr. Jungchul Moon, Deputy Director, Industry Statistics Division

Mr. Seong-IL Cho, Deputy Director., Statistical Standards Team

Mr. Sung-Nam Ahn, Deputy Director, Policy Support Division

JAPAN Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

Mr. Shinya Arakawa, Deputy Director, Public Relations and International Affairs Office

Mr. Toshiyuki Akasaka, Assistant Director, Industrial Statistics Office

IDCJ

Dr. Tomoyuki Kuroda, Chief Researcher

Mr. Yasushi Nakamura, Senior Researcher

Ms. Hiroko Sasaki, EAMS Technical Adviser



(2) 議事の概要

EAMIC に準じたデータ拠出に向けて、初めて+3サイドが抱える課題に向き合う会議となり、意見交換が実施された。

第1回ワークショップは、3カ国のデータ提供に向けた事実上の kick-off 会議であり、以下の項目に関する確認がなされた。

<プログラム概要>

- －EAMSの活動説明
- －各国のISIC Rev. 4の適用状況報告
- －EAMIC へのデータ組み替えに係る想定課題
- －今後の活動予定

各国は、第1回ワークショップの結果を受けて、データ拠出準備に入ることが期待される。

(3) ワークショップにおける意見交換の内容

1) 韓国による報告

① 韓国の分類(KSIC)について

KSIC は、ISIC の改正にあわせて頻繁に改正されている。

最近の改正は、2006年ISIC Rev.4改正に伴い、KSIC(9次改正)は2007年12月に改正した。改正に当たって、過去データとの整合を踏まえて時系列で再検討している。

改正する目的は、①統計、②行政のためである。

9次改正の経緯は、2006年3月ISIC Rev.4暫定案を受けて、2006年12月に1次案、8月2次案、10月3次案を作成12月に改正確定、2008年2月施行である。

9次改正は、製造業については中分類24、小分類83、細分類180、細々分類461である。ISICにあわせ改正しているが、韓国の産業構造の特性から、ISICと必ずしも対応していない。ISICとの主な違いは、機械修理・設置業である。ISIC Rev.4では製造業に分類され、KSICではサービス業に分類されている。

② EAMIC,ISIC,KSIC の関係

a) KSIC と EAMIC

EAMIC によって詳細された部分は、53sub-class と KSIC の関係を以下に示す。

KSIC 対 EAMIC の関係が、KSIC1細分類(class)に対して、EAMIC が1細分類(class)対応するものが、17(27%)細分類あり、同様にして1:nの関係が 44(70%)細分類、n:1が2(3%)細分類存在する。この状況から考えると、KSIC を EAMIC に対応させる事は容易ではない事が判る。

特に食料品製造業が難しい。その要因は、韓国の産業構造とアセアンの産業構造に相違がある為だと思うが、国際比較の必要性、活用度は低いのではないかと指摘した。

また、韓国の指摘の中に、「EAMIC は、アクティビティ・ベースで統一された分類ではな

く、コモディティ・ベースの分類が混在している。」という指摘があった。これは韓国の分類に関する考え方と異なるために、データ提供に際して検討を要する課題となっている。

b) KSIC と ISIC

ISIC Rev.4

同様にして KSIC と ISIC は、1:1が 27(41%)、1:nが 8(12%)、n:1が 5(8%)、その他(対応する分類なし)が 18(28%)

ISIC との整合においては、ほぼ日本と同じ課題を抱えている事が確認された。

2) 改善案

韓国は、EAMIC に準じてデータを準備するために以下の 3 つのアプローチを提案した。

(a) ダブル計上(分類に合わせて再計算する)

費用、時間等がかかる為、このアプローチは採用したくない。

(b) センサス、品目調査を連携

(c) 類似資料で比例配分

上記(2)、(3)が現実的である。国連や OECD には、類似資料で比例配分したデータを報告している。

3) 中国による報告

① 中国の分類(CSIC9 について)

CSIC は、ISIC Rev.3 にあわせて 2002 年 5 月に改定し、2003 年 1 月試行。製造業については中分類 30、小分類 169、細分類 482 である。

CSIC は ISIC Rev.3 への変換、対応は可能である。

ISIC Rev.4 に準じた CSIC の改定は、2010 年 5 月小分類最終案を、2010 年 10 月全ての最終案を策定し、2010 年 12 月に試行予定。ISIC Rev.4 と CSIC は大・中分類は対応、細分類で対応表(変換表)を作成する。

② EAMIC,ISIC,CSIC の関係

a) CSIC と ISIC

対応の課題として、①1:nの問題、②CSIC は素材で分類(例:織物)していること、③範囲の違いが存在すること、④データを公表していない部門(3040)が存在すること、⑤機械器具関連に対応しない部門があること、等を挙げた。

b) CSIC と EAMIC

対応表(変換表)を作成する上で困難な点がある。CSIC がいくつかの EAMIC 部門に対応している。食料品製造業、民生用電子・電気機械製造業等に顕著である。

注:これらは、EAMIC で細分化した部門である。

EAMIC に対する意見として、EAMIC の細分化した部門は5桁の分類としてはどうか、なぜ、4桁なのかという発言あり。

また、3 桁データの拠出、ISIC Rev.4 での拠出の可能性を、テーブルに打診した。2010 年 12 月のデータ拠出に向けたこの課題解決は、+3サイドによる更なる協議を必要とし、課題解決に取り組む必要がある。

(4) +3 WS 後の整理

1) 結果概要

データ提供については、3カ国とも 13 項目のデータ及びメタデータの提供についても合意した。(ただし、中国についてはサポートが必要になる可能性が存在する)。

2) 次回開催地

・中国 2010 年 7 月- 8 月予定

3) 主な議論

- ・ 分類が”1:n”で対応するときの問題

⇒自国 5 桁以詳の分類又は各事業所のコモディティ・アウトプットに応じて判断する(組み替える)という方向性が一つ。ただし、これは全関係国に共通する問題であり、その手法に関する情報交換を通じて、今後対応法を+3諸国で模索してゆく。

- ・ 韓国から、EAMICの一部は、アクティビティ・ベースではなく、コモディティ・ベースとなっているものがあるが、これが韓国のデータ拠出を困難にしているとの意見が出された

⇒EAMIC(案)を検討したアセアン 4 カ国によるパイロットスタディにおいて、各国は事業所数と付加価値額のデータを持ち合い、その規模の多いものを詳細化の対象として検討した旨を伝えた。この時、付加価値額の大きさも確認済みであることを確認。

EAMICは、アセアン諸国の産業構造の反映を目途の 1 つにしていることから、一部コモディティ・ベースの 4 桁分類が存在する事になったが、アセアン 10 カ国が詳細化の必要性を認めており、+3サイドも可能な範囲での対応が求められる。

この点は、日本の 5 桁、6 桁もコモディティ・ベースになっている現実を考え合わせ、詳細化を進めるとアクティビティ・ベースで分類を設定する難しさが顕在化したものである。

- ・ 中国の作業が遅れる可能性

⇒ISIC Rev.4 の適用が遅れており、EAMICに準じたデータの拠出が遅れる可能性がある。

変換表の作成等、韓国・日本の知見を中国と共有する場の構築を検討する。第二回WSを中国で開催することを提案した。必要に応じて、小規模なWSの開催も検討する必要がある。

第4章 EAMSワークショップ(ジャカルタ)

第4章 EAMSワークショップ(ジャカルタ)

本ワークショップに先立ち、Non-Pilot 国であるマレーシア、ブルネイ、シンガポールの3カ国については2009年12月に調査団が訪問し、EAMIC Ver.1 への変換作業の準備状況とECMATによるデータ提供の可能性について聞き取り調査を行なった。3カ国ともまだ準備に取り掛かってはいなかったが、提出には協力的で早速準備を開始するとの了解を得た。特にマレーシアは今回のWSに変換表を作成し、ECMATの試作版を提出した。

4.1 ワークショップの概要

(1) 開催概要

1) 日時・場所

2010年2月23日～24日、インドネシア(ジャカルタ)ERIA本部会議室

2) 会議メンバー(約35人)

- ・ ASEAN+3(13カ国)各国2名(マレーシア、シンガポールは1名、)タイは工業から2名、ラオスは商工業から1名、インドネシアは3名
- ・ 経済産業省調査統計部3名
- ・ アセアン事務局2名
- ・ 事務局 経済産業省調査統計部、国際開発センター
- ・ オブザーバー UNSIAP

3) プログラム概要

- ・ EAMIC Ver.1 との変換作業およびECMAT13項目のデータ作成の現状報告
- ・ 2010年12月の最終提出期限に向けての実施計画





4.2 各国プレゼンテーションの概要

1) ブルネイ

- ・ 製造業統計は 5 年ごとに実施する経済センサス(EC)と四半期のビジネス調査(QSB)しかなく、年次調査は実施していない。QSB は GDP 計算のためのサンプル調査で大中規模企業のみを対象としている
- ・ ECMAT 提供データとしては 2007 経済センサス(基準年 2005 年と 2006 年)のデータで 13 項目すべてについてデータ提供可能である
- ・ ブルネイの産業分類 BDSIC2007 は、ISIC Rev.4 と ACIC に準拠しており、2007 経済センサス以降適用している(Division, Group レベルは ISIC と同じであるが、Class では ISIC137 に対して BDSIC は 129)
- ・ EAMIC Ver.1.0 との対応では、Many to one については Recode の必要がある。秘匿についても類似産業に Re Code する必要がある

2) カンボジア

- ・ 2007 実施の事業所調査(基準年 2006 年)によるデータしかない。プノンペンなどのみのサンプル調査(サンプル数 690)で回収率は 61%、ISIC Rev.4 を適用
- ・ 2011 経済センサスを実施する予定。製造業については EAMIC を適用、その他の分類もできるだけ CSIC の適用を目指す予定

3) 中国

- ・ 現在使用している 2002CSIC は ISIC Rev.3 に準拠しており、2003 年以降適用している(20Sections, 95 Divisions, 396Groups, 913 Classes)。製造業は Division 30、Group 169,

Class 482

- ・ 現在 ISIC Rev.4 に基づく CSIC の改訂作業中で、2010 年 12 月に最終承認を得る予定である
- ・ ECMAT 提供データは 2008 経済センサスの結果の予定である(売上高 500 万元以上のすべての製造企業対象)。しかしながら、提供できるデータ項目は 5 項目 (Number of Enterprises, Total No. of paid workers, Salary and Wages, Value of gross output, Value of fixed assets)である
- ・ 現在 CSIC-2002 と EAMIC との Correspondence Table 表を試作、CSIC で 4 桁レベルでの EAMIC への対応を試行中であり、96 クラスについてはリンクを作成、One to one, one to many の関係を見て統合すべきものを調査中。EAMIC のいくつかは詳細すぎて単純に変換するのは困難
- ・ いくつかのクラスでは定義が違って変換が困難(1021-1029、2641-2649)

4) インドネシア

- ・ 提供データは 2007 Annual Survey of Large and Medium Manufacturing Establishment
- ・ EAMIC では細分化しすぎていて現 KBLI の 1:n に対応してブレイクダウンできない
- ・ ISIC Rev.4 に基づく KBLI はすでにできており、2010 年 7 月に各地方事務所へ配付予定、2011 年の年次の大中規模産業調査から適用予定
- ・ ECMAT 試作版を提出(USD 換算版も提出)

5) 日本

- ・ 適用データは 2006 年工業センサスと 2007 年工業センサス結果である。ISIC に由来する EAMIC と、ISIC と類似はするものの相違点が多い JSIC は、構造的に対応していないため、EAMIC とは定義の違い等の分類体系の問題がある
- ・ 公表データを用いてデータの組み替えを行った場合、一次秘匿、二次秘匿により ECMAT のデータ項目に大量の秘匿箇所が発生するため、今回は秘匿されていないデータを加工し、かなりの秘匿部分が減少するなど大幅に改善が見込まれた
- ・ JSIC1 部門に対して、EAMIC が複数部門の対応があるため (1 : n 問題)、JSIC4 桁と EAMIC4 桁の 1 : 1 の対応表作成は困難があるので JSIC6 桁との対応表を作成、1:n 問題の対処法として、ある特定の EAMIC の出荷額が大きく、他が無視できるほど小さい場合は、出荷額の大きい EAMIC の部門に格付けする方法、出荷額を比例配分する方法、主と思われる部門に格付けの 3 通りの方法を検討
- ・ もう一つの方法として EAMIC-工業対応表に基づき、工業統計調査の対象事業所を EAMIC4 桁と JSIC6 桁を組み合わせた 10 桁の仮コードによりシステムの専門担当者により再格付けをする方法がある。複数製造品がある場合は、トップダウン方式で格付けを行なう

- ・ ECMAT13 項目のうち、Foreign Capital はデータを収集していないので提出できない、また EAMIC1412、3311-3320 は JSIC では製造業としていないので工業統計調査のデータがない

6) ラオス

- ・ 提供できる製造業データは MOIC の Administrative record と Dos で実施された 2006Economic Census、および年次企業調査しかない
- ・ ERIA のプロジェクトで作成された LSIC の MFG を他のセクターにも広げ、LSIC の完成を目指し、2011 年から適用したい

7) マレーシア

- ・ ISIC Rev.4 に基づく MSIC2008 は 2010 年の調査から適用(基準年 2009 年)
- ・ MSIC2008 のセクション C は ISIC Rev.4 と 4 桁の Class までは同じで、5 桁目の Item259 でマレーシア独自の産業を分類している
- ・ ECMAT の 13 項目はすべて提供可能
- ・ EAMIC のいくつかの Class は MSIC とマッチせず、いくつかの産業をくくっている
- ・ 2006 年経済センサス(基準年 2005 年)のデータで作成。また、マレーシアは MSIC2008 と EAMIC との Correspondence Table を作成
- ・ マレーシアは現状の ECMAT 試作版および変換表を提出

8) ミャンマー

- ・ 2009 年 2 月に Private Industrial Zones での Manufacturing Census を実施
- ・ この結果での ECMAT 試作版を提出

9) フィリピン

- ・ 従業者 20 人以上のサンプル調査である 2006CPBI のデータ提供可能(基準年 2006 年)
- ・ ECMAT の 13 項目すべてのデータ提出可能
- ・ 提供された試作版データでは、7産業で EAMIC2 つをまとめ、3 産業で上位 3 桁分類に統合している
- ・ ECMAT 試作版を提出

10) 韓国

- ・ ISIC Rev.4 に準拠した KSIC Rev.9 は 2008 年から適用。Manufacturing では 4-digit の class で 180、5-digit の sub-class で 461 の分類となっている
- ・ EAMIC の分類中、KSIC では製造業ではない分類が2つ(これは ISIC と違う)
- ・ 特に Processing Agricultural and fishery products では EAMIC は KSIC に比べ非常に細

分しているため、対応できず EAMIC3 桁を統合した分類がある(102,103,104)

- ・ 提出されたデータは従業者 10 人以上を対象にした 2008 年次製造業統計調査である
- ・ ECMAT13 項目のうち No. of establishment with foreign capital はデータがない。その他 EAMIC に対応できず 3 桁でのデータで提出した業種が6、複数の EAMIC を統合したのが 8産業あった
- ・ ECMAT 試作版を二通り提出(一つはセンサス結果に基づく全製造事業所分で事業所数、従業者数のみのデータ、もう一つは従業者 10 人以上をカバーする年次製造業調査結果に基づくもので、外国資本事業所数を除く 12 項目のデータ)

11) シンガポール

- ・ SSIC2010 は ISIC Rev4 に準拠し、Section C では Divisions 23、Group 74、Class 129、5 桁レベルでは 386 分類となっている
- ・ SSIC205 から SSIC2010 への変換は 2010 年の第 1 四半期中に完了予定
- ・ EAMIC との Correspondence Table を作成、2010 年 6 月中にはこれを完成し、7 月中には 13 項目のデータを作成する予定である
- ・ EAMIC は SSIC2010 と比していくつかの産業で詳細すぎて対応できないものがある
- ・ Repair や Pre-cast structural components は SSIC では製造業としていないのでデータ提出ができない。また、秘匿の問題で提出できないものもある

12) タイ

- ・ 従業者数 11 人以上の事業所をカバーしている 2007Industrial Census (reference Year2006)のデータを提供予定。ECMAT13 項目のデータ提出可能
- ・ ユーザーの要求により、Industrial Census を 5 年ごとに行なうことになった。次回は 2012 年である
- ・ ISIC Rev.4 に基づく TSIC2009 は完成し、2010 年の人口センサスから適用される
- ・ 4 桁レベルでの変換は約 40%については 1:1 の対応が可能であるがそれ以外については個々に内容をチェックしてコーディングする必要がある
- ・ 634 事業所分のデータについては製造業から他産業へ振り分けなければならない

13) ベトナム

- ・ ECMAT13 項目のうち提出できないのは 6 項目、Total number of paid worker, Value of goods produced, value of work done for others, cost of raw materials, total input cost, value added である
- ・ 57 産業で Many to 1, あるいは 1to many のケースがある。Gross output の割合で振り分ける方法も検討中
- ・ECMAT 試作版提出

4.3 ECMAT データの提出の可能性

かなりの国で EAMIC への変換作業を開始し、試作版を作成していることが判明した。

今回 ECMAT 試作版を提出した国は、マレーシア、韓国、フィリピン、ベトナム、日本、インドネシア、ミャンマーの 7 カ国、シンガポールは今回提出しなかったが、試作版はすでに作成し、検証を行っているとのことであった。この 8 カ国については、変換上の方法についてはまだ問題は残るものの、一応データの提出には問題はなさそうである。また、ブルネイは ISIC Rev.4 に準拠した BDSIC2007 によって実施された 2007 センサスのデータで作成するということで上記 7 カ国と同じ状況であると考えられる。

ラオス、カンボジアについては、他の国と状況が違うのは、そもそも提出できるデータそのものがないか乏しい状況であるということである。カンボジアは 2006 年のセンサスに基づくデータを予定しているが、このセンサスそのものがプノンペン地域のためのサンプル調査である。なお今回試作版の提出があったミャンマーはについても最近製造業調査を行なったとしているが、Private Industrial Zones のみを対象とした調査であり、データの範囲が限定されている状況である。

タイと中国は EAMIC との変換表を作成して現在作業を進めているということである。中国も変換上の問題（「10」食料品等 EAMIC との定義の違い等）を抱えているが、現在も 4 桁レベルでの EAMIC への変換も試行しており、さらに 2010 年 6 月までに分類の最終版の完成を目標とするロードマップも作成しているなど、努力も見られるため、来年度に開催予定としている +3 のワークショップでより具体的かつ技術的な議論ができる見込みである。またその際に中国が持っている問題を解決してデータ提出への最終調整をする必要がある。

CLM を除く 10 カ国の中で、13 項目のうち半数近くのデータの提出が不可能な国は、中国とベトナムである。残り 8 カ国は全項目かごく一部の項目についてデータ収集を行っていないので提出不可能であるということである。

章末資料:

1 ワークショップ参加者リスト

BRUNEI

Ms. Hjh. Mariah Hj. Yahya, Assistant Director of Statistics
Department of Economic Planning and Development (JPKE)

Ms. Hjh. Sharipah Juriah Hj. Wan Junaidi, Senior Assistant Statistician
Department of Economic Planning and Development (JPKE)

CAMBODIA

Mr. Rongsa Teav, Deputy Director
Department of Standard and Analysis Statistics
National Institute of Statistics
Ministry of Planning

Mr. Sokunth Hom, Bureau Chief of Industrial Trade
Economic Statistics Department
National Institute of Statistics
Ministry of Planning

CHINA

Ms. Xiaohui Wang, Director
Department of Industry Statistics
National Bureau of Statistics of China

Weining Yu (Ms.), Senior Program Officer
Department of Industry Statistics
National Bureau of Statistics of China

INDONESIA

Dr. Subagio Dwijosumono (Mr.), Deputy Chief Statistician
BPS-Statistics Indonesia

Dr. Mudjiandoko (Mr.), Director
Industrial Statistics
BPS-Statistics Indonesia

Mrs. Tri Supriyati, Chief
Large and Medium Industrial Statistics
BPS-Statistics Indonesia

JAPAN

Mr. Shinya Arakawa, Deputy Director
Public Relations and International Affairs Office
Research and Statistics Department
Economic and Industrial Policy Bureau
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

Mr. Makoto Iwabuchi, Classification Technical Officer
Industrial Statistics Office
Research and Statistics Department
Economic and Industrial Policy Bureau
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

LAO PDR

Mr. Khamphanh Chaleunphonh, Deputy Head
Methodology Division
Department of Statistics
Ministry of Planning and Investment

Mr. Vixay Santivong, Director
Economic Statistics Division
Department of Statistics
Ministry of Planning and Investment

Sengphet Sengmeuang (Ms.), Technical Staff
Planning Division, Permanent Secretary Office
Ministry of Industry and Commerce

MALAYSIA

Ms. Masidah Mohd. Fadzil, Statistician
Industrial Production and Construction Statistics Division

MYANMAR

Mr. Aung Myint Than, Deputy Director
Central Statistical Organization

Ms. Zin May Oo, Assistant General Manager
Myanmar Foodstuff Industries
Ministry of Industry

THE PHILIPPINES

Dulce Regala (Ms.), Officer-In-Charge
Industry Statistics Division
National Statistics Office

REPUBLIC OF KOREA

Mr. Gyuntae Kim, Director of Industrial Statistics Division
Economic Statistics Bureau
Statistics Korea

Ms. Youngmi Lee, Officer
International Statistical Cooperation Department
Statistics Korea

SINGAPORE

Ms. Wai San Cheng, Head
Planning/ Research and Statistics
Economic Development Board

THAILAND

Ms. Kanjana Phumalee, Technical Statistics Officer
Statistical System Management Bureau
National Statistical Office

Ms. Sakulkarn Khankhaeng, Technical Statistics Officer
Economic and Social Statistics Bureau
National Statistical Office

Ms. Piyanuch Sirayaporn, Senior Plan and Policy Analyst
Industrial Economics Information Center
Office of Industrial Economics

Mr. Somchai Champathong, Information Technology Officer
Industrial Economics Information Center
Office of Industrial Economics

VIETNAM

Mr. Tran Tuan Hung, Deputy Director
Department of Statistical Standard and Methodology
General Statistics Office of Vietnam (GSO)

Mr. Nguyen Viet Phong, Officer
Industry and Construction Statistics Department
General Statistics Office of Vietnam (GSO)

(Observer)

Mr. Alope Kar, Statistician
UN Statistical Institute for Asia and the Pacific (UNSIAP)

(Secretariat)

ASEAN SECRETARIAT

Mr. John de Guia, Senior Officer
Ms. Lia Emalia,
Technical Officer for Statistics

EAMS SECRETARIAT

Mr. Tomohiko Hayakawa, Assistant Director
Public Relations and International Affaires Office
Research and Statistics Department
Economic and Industrial Policy Bureau
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

IDCJ

Dr. Tomoyuki Kuroda (Mr.)
Ms. Quah Pin Pin
Mr. Yasushi Nakamura
Ms. Melissa Pedreschi

第5章 日本のデータ提供準備について

第5章 日本のデータ提供準備について

2009年2月にタイのチェンマイで開催されたパイロット4カ国の局長級会議の承認を経て、Draft EAMIC は EAMIC Ver.1 として一応の確定した後、2009年6月にフィリピン・セブで開催された第4回 EAMS 会議において EAMS 全参加国(13カ国)に EAMIC Ver.1 が正式に承認され、ECMAT のデータ提供について合意がなされた。パイロット・スタディの4カ国以外の国でもデータ提供準備が本格化することになった。

また、昨年11月に韓国(デジュン)において+3カ国(日本、中国、韓国)のワークショップを開催し、データ提供準備に関する意見交換が実施された。

現在、日本においても、ECMAT 作成のための準備として、JSIC と EAMIC Ver.1 の突合せを実施し、JSIC と EAMIC Ver.1 の対応表を作成した。対応表について、問題点を解消するため、その対処方法を考察した。

5.1 JSIC Rev.11 と EAMIC Ver.1 の対応について

(1) JSIC Rev.11 と EAMIC Ver.1 の関係

最新の JSIC Rev.12 は、2008年工業統計調査から適用されている。現段階で利用できるデータは 2007 年工業統計調査結果であるため、本報告書では JSIC Rev.11 を適用する。ISIC Rev.4 と EAMIC Ver.1 は整合しているが、JSIC Rev.11 は、ISIC Rev.4 と整合していない。このことから EAMIC Ver.1 と JSIC Rev.11 は、1:1で対応しない分類(class)が存在する。

JSIC Rev.11 と EAMIC Ver.1 間の最も大きい相違点は、製造業の範囲が異なることである。JSIC では機械修理(一部を除き)は、基本的にサービス業に分類され、さらに、再生ゴム、鉄スクラップ加工処理品などの再生業(Recycle)も製造業に分類される。一方、EAMIC Ver.1 では機械修理は製造業に分類され、材料再生業は再生業に分類される。

(2) JSIC Rev.11 と EAMIC Ver.1 の対応の問題点

JSIC Rev.11(4桁分類 563)と EAMIC Ver.1(4桁分類 180)を対応させた結果、JSIC1分類に対し、EAMIC 複数分類に対応している分類が EAMIC180 分類うち 75 分類存在する。(表5-1 参照)。

この 75 分類のうち、3 分の1は食料品製造業である。

JSIC Rev.11 1 分類が、EAMIC Ver.1 の複数分類に対応(1:n)する主なものとしては、例えば、材質で分類が異なるもの(例:食料油脂、家具、時計バンド等)や、用途により分類が異なるもの(例:プラスチック製品、民生用電気機械器具等)が挙げられる。

表 5-1 JSIC Rev.11 と 1:n の関係にある EAMIC Ver.1

<ul style="list-style-type: none"> * 1011 Slaughtering and packing of meat (except poultry) * 1012 Slaughtering and packing of poultry meat * 1013 Processing and preserving meat and poultry meat products * 1021 Processing and preserving of fish and fish products, fresh, chilled or frozen * 1022 Production of canned fish * 1023 Processing and preserving of crustaceans and molluscs * 1024 Production of canned crustaceans and molluscs * 1031 Processing and preserving of fruit and vegetables * 1032 Production of canned fruit and vegetables * 1033 Production of fruit or vegetable juices 1039 Production of other fruit or vegetable products n.e.c. * 1041 Manufacture of vegetable and animal oils and fats (except palm oil and coconut oil and corn oil) * 1042 Manufacture of coconut oil, copra cake, meals and pellets * 1043 Manufacture of palm oil * 1044 Manufacture of corn oil * 1045 Manufacture of animal oil and fats * 1049 Manufacture of other vegetable and animal oils and fats, n.e.c * 1051 Processing of fresh milk and manufacture of cream * 1052 Manufacture of powdered milk and condensed or evaporated milk (filled, combined or reconstituted) * 1053 Manufacture of ice cream and sherbet, ice drop, ice candy and other flavoured ices * 1059 Manufacture of dairy products, n.e.c. * 1061 Manufacture of grain mill products (except rice/corn) * 1063 Rice/Corn milling and manufacture of rice/corn flour * 1075 Manufacture of prepared meals and dishes * 1079 Manufacture of other food products n.e.c.
<ul style="list-style-type: none"> 1101 Distilling,,rectifying and blending of spirits * 1104 Manufacture of soft drinks * 1105 Manufacture of drinking water and mineral water * 1109 Manufacture of other beverages, n.e.c.
<ul style="list-style-type: none"> 1312 Weaving of textiles 1322 Manufacture of made-up textile articles, except apparel 1329 Manufacture of other textile n.e.c
<ul style="list-style-type: none"> 1512 Manufacture of luggage, handbags and the like, saddlery and harness 1520 Manufacture of footwear
1629 Manufacture of other products of wood; manufacture of articles of cork, straw and plaiting materials n.e.c
1709 Manufacture of other articles of paper and paperboard
<ul style="list-style-type: none"> 2219 Manufacture of other rubber products * 2221 Manufacture of builders' plastic wares * 2222 Manufacture of plastics articles for the packaging of goods * 2223 Manufacture of finished plastics products * 2229 Manufacture of other plastics products n.e.c
<ul style="list-style-type: none"> 2310 Manufacture of glass and glass products 2393 Manufacture of other porcelain and ceramic products 2396 Cutting, shaping and finishing of stone
<ul style="list-style-type: none"> * 2512 Manufacture of tanks, reservoirs and containers of metal * 2593 Manufacture of cutlery, hand tools and general hardware * 2594 Manufacture of pails, cans, drums and similar containers of metal * 2599 Manufacture of other fabricated metal products n.e.c

2632 Manufacture of wireless communications equipment *2642 Manufacture of audio and visual recording, receiving and duplicating equipment (except televisions) *2649 Manufacture of other consumer electronics equipment n.e.c. 2651 Manufacture of measuring, testing, navigating and control equipment *2671 Manufacture of photographic equipment
*2751 Manufacture of domestic electric appliances *2752 Manufacture of domestic electrothermic appliances *2759 Manufacture of other domestic appliances n.e.c
2815 Manufacture of ovens, furnaces and furnace burners 2816 Manufacture of lifting and handling equipment *2818 Manufacture of power-driven hand tools *2819 Manufacture of other general-purpose machinery 2821 Manufacture of agricultural and forestry machinery 2824 Manufacture of machinery for mining, quarrying and construction 2826 Manufacture of machinery for textile, apparel and leather production 2829 Manufacture of other special purpose machinery
*2910 Manufacture and/or assembly of motor vehicles *2930 Manufacture of parts and accessories for motor vehicles
*3011 Building of ships and floating structures *3012 Building of pleasure and sporting boats *3091 Manufacture of motorcycles
3100 Manufacture of furniture
3211 Manufacture of jewellery and related articles made of precious and semi-precious materials 3212 Manufacture of costume jewellery and related articles 3230 Manufacture of sports goods 3290 Other manufacturing n.e.c.
3312 Repair of machinery

(注) *は(3)で後述する複数対応の分類を比例配分することで解消した分類である。

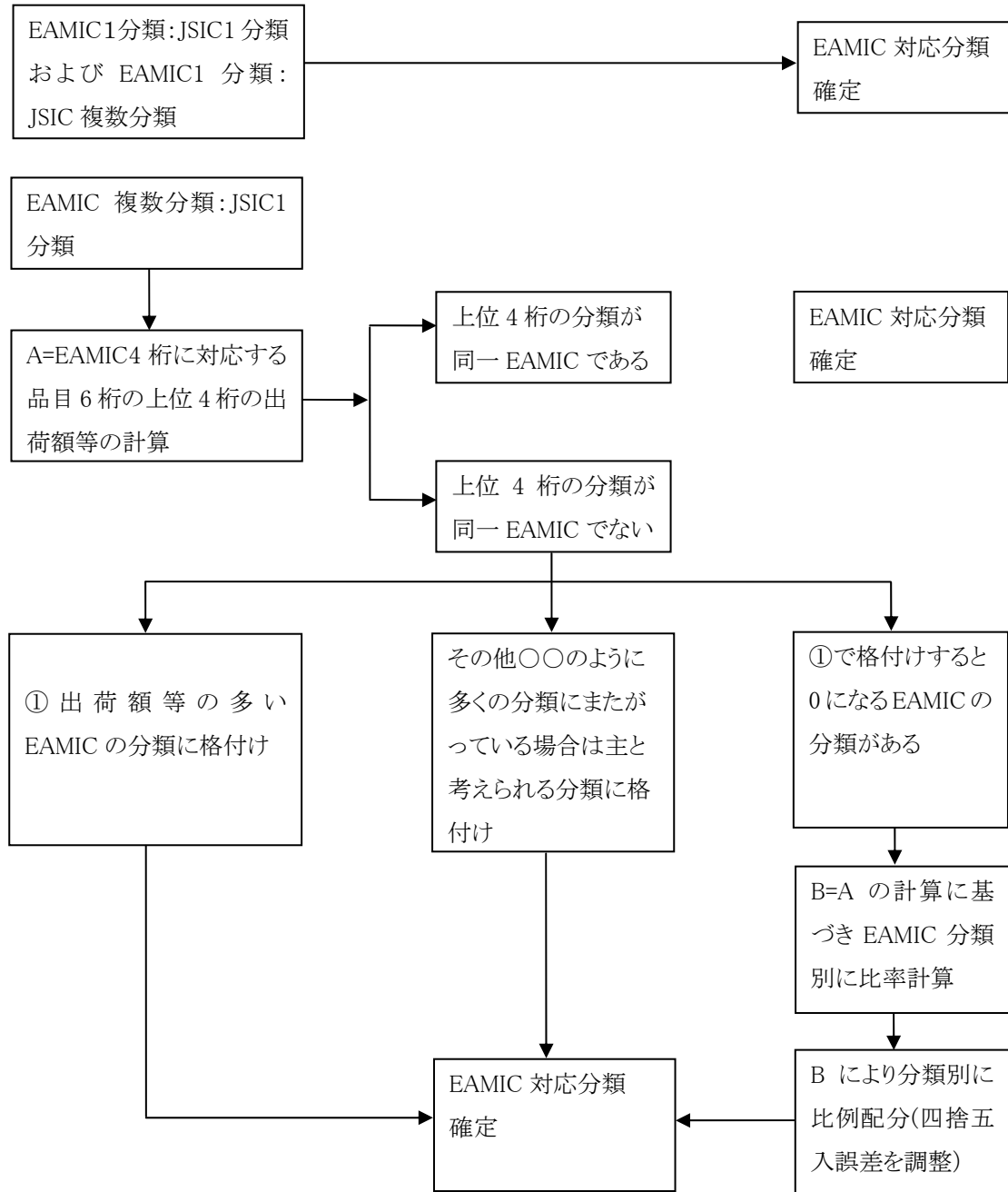
(3) 対処方法

JSIC Rev.11 1分類に対して EAMIC Ver.1 が複数分類対応するケースの課題を解消するための対処方法は、比例配分による手法を採用する。

工業統計表では事業所数が2以下の場合は秘匿としており、秘匿データがある場合はこの比例配分の方法を採用できない。今回は、研究目的として位置付けられ、非公表データの利用が可能になったため試行することが出来た。

その方法は、工業統計調査用分類(6 桁品目分類)を活用するものである。具体的には、工業統計 6 桁品目分類と EAMIC Ver.1 の対応表を作成し、EAMIC Ver.1 1分類に対応する JSIC Rev.11 が1分類または複数分類になるように分類格付けを行った。なお、この分類格付けのフローを図 5-1 に示す。

図 5-1 分類確定までのフロー



分類格付けをするため、試行対象データとして工業統計調査の 6 桁分類（Product Classification）4 人以上の出荷額等のデータを用いた。

工業統計品目表(Census Product Classification)に EAMIC Ver.1 を対応させ、品目(Product Classification) 6桁の上位 4 桁(JSIC Rev.11 4 桁)が複数の EAMIC Ver.1(4 桁) に対応しているものを抽出した。表 5-2 でみると、JSIC Rev.11. 0911 は EAMIC Ver.1 の 1011 と 1013 の複数分類に対応している。同様に、JSIC Rev.11 0912 は、EAMIC Ver.1 1051、1052、1053 と 1059 に対応する。

表 5-2 平成19年工業統計表「品目編」データ 4 人以上

JSIC	品 目	出荷額等 (百万円)	対応する EAMIC
0911	091111 部分肉、冷凍肉(ブロイラーを除く)	1212533	1011
0911	091112 肉缶詰・瓶詰・つぼ詰	5146	1013
0911	091113 肉製品	653572	1013
0912	091211 練乳、粉乳、脱脂粉乳	166393	1052
0912	091212 バター	74203	1059
0912	091213 チーズ	166296	1059
0912	091214 処理牛乳	556207	1051
0912	091215 クリーム	144403	1053
0912	091216 アイスクリーム	249558	1053
0912	091217 乳飲料、乳酸菌飲料	313455	1059
0912	091219 その他の乳製品	403875	1059

次に、JSIC Rev.11 4 桁で見て、EAMIC Ver.1 複数に対応している分類について、①出荷額等の多い EAMIC Ver.1 の分類に格付け(表5-3)、②出荷額等で EAMIC Ver.1 分類別に比例配分(表5-4)、③主と考えられる分類に格付け(表5-5)の3グループ分けをした。

① 出荷額等の多い EAMIC Ver.1 の分類に格付けしたケース(表 5-3参照)

JSIC1259 は、EAMIC Ver.1 の 1420 と1413の両方に対応するが、品目別の出荷額等の 97%を占める EAMIC 1413 に対応させる。この方法により複数に対応している75分類の内、18 分類について解消した。

表 5-3 出荷額等の多い EAMIC の部門に格付けしたケース

JSIC	品 目	出荷額等 (百万円)	比率	対 応 EAMIC	確定 EAMIC
1259	125911 なめし革製衣服(合成皮革製を含む)	946	3%	1420	1413
	125912 繊維製履物	3773		1413	
	125913 衛生衣服附属品	2119	97%	1413	
	125919 他に分類されない衣服・繊維製身の回り品(ニット製を含む)	27531		1413	

② 出荷額等で EAMIC Ver.1 分類別に比例配分するケース(表5-4参照)

JSIC 0911 は EAMIC Ver.1 の 1011,1013 に対応しており、それぞれの比率で比例配分することにした。この方法で比例配分した分類は複数に対応している分類の 6 割強の 48 分類である。

表 5-4 比例配分したケース

JSIC	品 目	出荷額等 (百万円)	比率	対応する EAMIC	確定 EAMIC
0911	091111 部分肉、冷凍肉(ブロイラーを除く)	1212533	65%	1011	1011
	091112 肉缶詰・瓶詰・つぼ詰	5146	35%	1013	1013
	091113 肉製品	653572		1013	
0919	091911 ブロイラー加工品(解体品を含む)	459453	65%	1012	1012
	091919 その他の畜産食料品	251049	35%	1079	1079
0983	098311 ショートニング油	35182	77%	1049	1049
	098312 マーガリン	68433		1049	
	098319 その他の食用油脂	90467	23%	1013	1013
	098319 その他の食用油脂	90467		1049	

③ 主と考えられる分類に格付けしたケース(表5-5参照)

出荷額等が分類ごとに分割できないため、主と思われる分類に格付けした。

149919 は材質により EAMIC Ver.1 の分類がそれぞれ異なっているが、出荷額等で按分できないことから、主と思われる分類に格付けした。

表 5-5 主と思われる分類に格付けしたケース

JSIC	品 目	出荷額等 (百万円)	対応する EAMIC	確 定 EAMIC	備 考
1499	149919 他に分類されない家具・装備品	61716	1629	3100	黒板等
	149919 他に分類されない家具・装備品	61716	2310	3100	ガラス製家具
	149919 他に分類されない家具・装備品	61716	2393	3100	陶磁器製家具
	149919 他に分類されない家具・装備品	61716	2396	3100	土石家具
	149919 他に分類されない家具・装備品	61716	3100		

④ JSIC Rev.11 が EAMIC Ver.1 に対応しない分類及び日本において活動がない分類については NA(Not Available))とした(表5-6参照)。EAMIC Ver.1 上では製造業であるが、JSIC Rev.11 では製造業以外の分野に該当するため、工業統計調査の対象外となっている。これは EAMIC Ver.1 対応というよりも ISIC Rev.4 対応自体に内在するものである。

表 5-6 「NA」分類

NA となった EAMIC 分類
1412 Custom tailoring and dressmaking
3040 Manufacture of military fighting vehicles
3311 Repair of fabricated metal products
3312 Repair of machinery
3313 Repair of electronic and optical equipment
3314 Repair of electrical equipment
3315 Repair of transport equipment, except motor vehicles
3319 Repair of other equipment
3320 Installation of industrial machinery and equipment

5.2 日本側のデータソース(メタデータ)

(1) データソース

2006 年(平成 18 年)及び 2007 年(平成 19 年)工業統計調査

(2) データの対象

毎年調査である 4 人以上の事業所のうち 4~29 人の事業所は、下記の ECMAT データ項目のうち、⑥Value of goods produced、⑦Value of work done for others、⑧Cost of raw materials 及び ⑫Value of fixed assets other than land、⑬Gross Addition to Fixed Assets の5項目は調査していない。そこで、従業員 4 人以上の事業所及び 30 人以上の事業所の 2 通りの ECMAT を作成した。

(3) 産業分類

日本標準産業分類 JSIC (11 回改定) に準拠した工業統計調査用分類 (JSIC 1523 機械すき
和紙製造業及び JSIC 2332 高炉によらない製鉄業を除く。) である。

なお、JSIC Rev.11 は平成 19 年 11 月に第12回改定されたが、この分類は平成20年工業統計調査から適用している。

(4) データ項目

ECMAT のデータ 13 項目のうち、日本が提出できるデータは以下の 12 項目である(外国資本
の事業所数は日本ではデータを収集していない)。項目の定義は各国の定義に基づいており、
日本の場合の定義を下記に記す。

①Number of Establishments /Enterprises

事業所数

②Number of Workers (paid unpaid)

従業者数合計

③Total Number of paid workers

常用労働者(雇用者+出向・派遣受け入れ者+パート・アルバイト)+臨時雇用者

④Salary & wages

現金給与総額

⑤Value of Goods Produced

製造品出荷額

⑥Value of Work Done for Others

加工賃収入額

⑦Cost of raw materials

原材料使用額

⑧Total Input Cost

原材料使用額等=原材料使用額+燃料使用額+電力使用額+委託生産費

⑨Value of Gross Output

製造品出荷額等=製造品出荷額+加工賃収入額+修理量収入額+製造工程から出たく
ず及び廃物出荷額+その他の収入

⑩Value Added

付加価値額=生産額-(消費税を除く内国消費税+推計消費税-原材料使用額等-減価
償却費)

⑪Value of Fixed other than Land

有形固定資産額(除く土地)=年初現在高+取得額+除却額-減価償却費

⑫Gross Addition to Fixed Assets

増加分(除く土地)=取得額+除却額-減価償却費=年末現在高-年初現在高

5.3 まとめ

JSIC が EAMIC Ver.1 の複数分類に対応している分類は、比例配分することで解消できることが判った。この方法は、コスト面、作業量を考慮すると、ECMAT の作成には最適な方法と思われる。

ただし、比例配分比率は、特定年次で固定すれば別であるが、毎年変更になることに留意する必要がある。

今回の試行方法は、公表されている工業統計表だけでは再現できない。比例配分で分類を確定する方法は、秘匿されていない工業統計表(Non published data)を利用できることが大前提となる。

今後、この方法で作成した ECMAT のデータの検討、分析をし、一層のデータの精度向上を図っていくことが肝要であろう。

章末添付資料:

- 1 日本工業統計の EAMIC Ver.1 対応表
- 2 複数対応分類の確定比例配分表

第6章 EAMS の進捗状況と将来の東アジア地域における課題

第6章 EAMSの進捗状況と将来の東アジア地域における課題

「製造業統計に関する国際比較」は、東アジア地域(アセアン+3)という「面(地域)」を対象としていることから、様々な事象を「点(国)」と「面(地域)」の両面から捉える事になる。個々の情報は「点(国)」から発せられ、それが「東アジア地域」という単位で集約されると「面(地域)」として機能を持つことになる。EAMSの問題意識の本質は、ここにある。国際比較性が低い原因を特定するためには、「点」と「面」の両面からのアプローチが必要になる。EAMSの最終ゴールは、「面(地域)」としての統計整備であるが、CLMに対しては「点」の視点が必要になる。それは、「面」に溶け込むために必要な準備が整っていないからである。

また、「面(地域)」という扱いになったとき、「東アジア域内(アセアン+3)」において、一定のルールに則った統計情報が整備されていないのではないか、そして、この事はやがて我が国が経済活動をアセアン地域に展開する中で不都合を生じる元凶になるのではないか」という問題意識がある。(ここで言う、一定のルールとは様々な統計の定義や調査手法等の事を指す。)

この課題に関しては、東アジア諸国(アセアン+3)が協働して「面(地域)」として取組むことが必要であり、その阻害要因をまず特定し、共有することが必要である。EAMSは、この課題に取り組むために設立された。EAMSは、各国の統計関連部局の部課長クラスが中心となって参加し、各国統計局を有機的につなげる場として効率的、かつ効果的な運営がされてきた。また、EAMSの活動報告は、+3側の意向を加味した形でAHSOMに報告する事になっており、重要な提言や「地域としての見解」についてAHSOMを通じてUNSD等を実施する事が第3回EAMS(北京会議)で同意されている。これはEAMSの重要な役割の1つである。

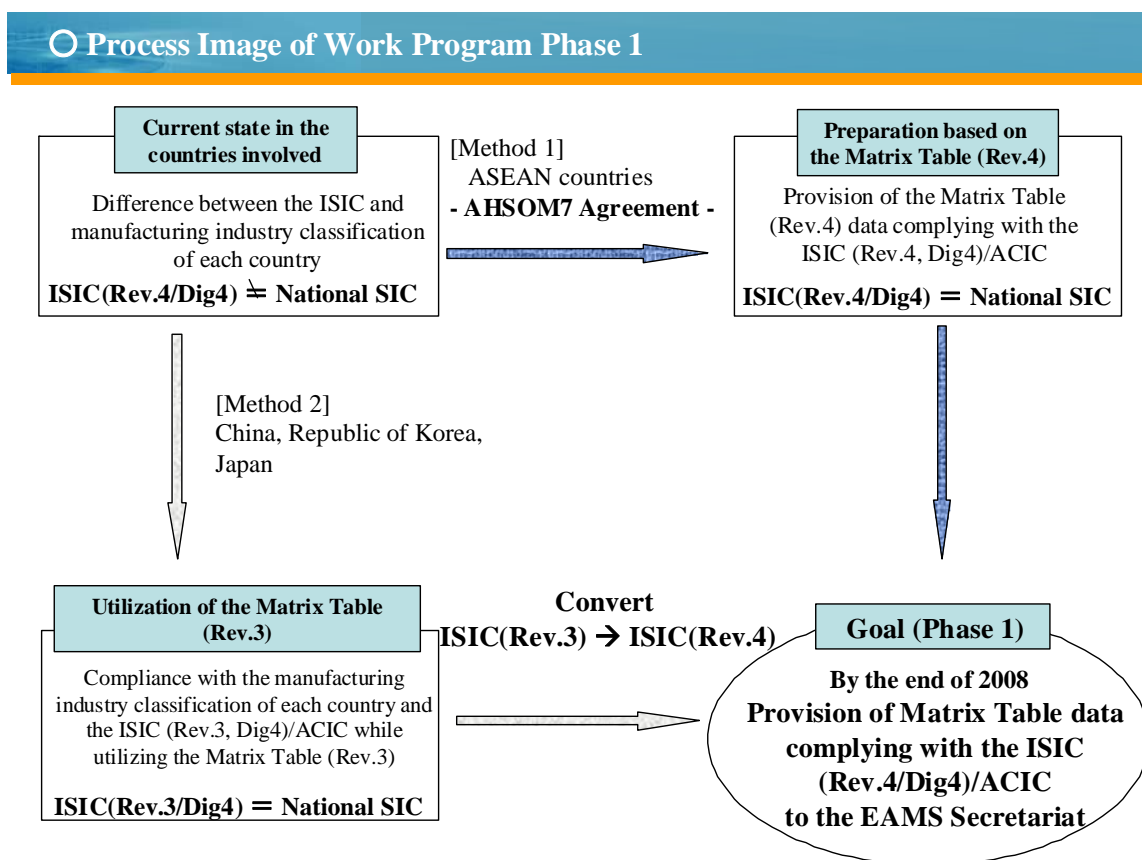
6.1 EAMSの進捗について

(1) EAMSの基本コンセプトとGOAL

EAMSの上位目標は、東アジア地域(ASEAN+3)との協働を通じて、同地域における製造業統計の国際比較性を高めるために、地域の産業構造を反映した域内産業分類(4桁、Section C)を整備し、より質の高い製造業統計を整備することにある。また、EAMSの基本コンセプトは、「面(地域)の課題は、面(地域)で協働し解決する」ことにあり、そのKeyワードは、①地域(ASEAN+3)、②製造業統計、③域内産業分類(4桁、Section C)、④ASEAN help ASEANスキーム(南南協力)である。東アジア地域の産業統計整備を鑑みれば、各国において国際比較可能な統計データが実際に整備されることが最終ゴールと言える。EAMSは、そのTORに記載されているように2010年を目標年度として、その道筋を検討しEAMICとECMATの構築に、まずは取組む事を選択した。

EAMICを構築する際の設計コンセプトは、第一回EAMS(東京会議)においてEAMS事務局が説明した概念図(図6-1)に示されている。これはASEAN事務局(Dr.Agus、Ms.Heidi)とEAMS事務局で協議し、意見交換を通じて策定した基本コンセプトである。図6-1に示す様に、まずISIC Rev.4とNSIC間の相違を確認した後、ASEAN10カ国と日中韓3カ国で異なるアプローチを採用する事は、第一回EAMS及びAHSOM7において合意を得ている。

図6-1 EAMIC の構築



(2) TOR の検証

表6-1に TOR の原文を示す。現時点で TOR がどの様に遵守されてきたか、報告する。
以下の項目番号は、表6-1中の項目番号に一致する。

1. 目的

(a) 国際比較可能な統計の調和のため、東アジア地域(ASEAN+3 諸国、以下同じ)において、同地域の特性を反映した、共通で調和のとれた製造業産業分類を作成する。

東アジアの地域特性を考えるに当たって、ASEAN 事務局、インドネシア統計局、フィリピン統計局と協議した結果、パイロット・スタディ対象国を 4 カ国選択しプロトタイプを作成に着手する合意を EAMS 東京会議の事前に得ていた。当初マレーシアを含めていたが、諸般の事情からベトナムを加え、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナムの 4 カ国でパイロット・スタディを実施した。結果的に、ベトナムが非常に協力的で 2 年間のパイロット・プロジェクトが成功裏に終了し、ドラフト EAMIC が完成する事になった。

- (b) 東アジア地域における国際比較性が可能な将来の製造業統計の構築に向けて、ISIC Rev.4/4 桁及び ACIC3桁との調和を図りながら、ECMAT 及び EAMIC に関する共同研究を実施する。

製造業統計に限れば、ACIC は ISIC Rev.4 そのままなので ACIC の動向を意識する必要がなくなった。まずは、EAMIC を構築し、EAMS 参加国の了承を得た段階でデータ準備に入る処までは、問題なく来ている。パイロット・スタディ対象国以外の統計先進国(日本、中国、韓国、シンガポール)からは、EAMIC は各国の NSIC より詳細な分類がある等の理由により、EAMIC と NSIC を対応させるための努力が必要になる。

- (c) 上記の目標を支援するため、キャパシティ・ビルディング・プログラムを提供する。

EAMS の活動自体がキャパシティ・ビルディングであるとも言えるが、狭義の意味におけるキャパシティ・ビルディング・プログラムはカンボジア、ラオス、ミャンマー (CLM) 3カ国に投入された。ERIA の協力の下で、自国 NSIC(Section C)を構築するためのプロジェクトが投入された。1年目は3カ国が集う形でWSを開催し、2年目は各国内関係者を集めてWSを開催した。

全く同時期に同じ条件の下で NSIC の構築に3カ国が取り組みを開始したので、同じような分類が提出されるかと思っていたが、各国が重要と考える産業が異なり、特徴のある分類が提出された。各国統計局が国家5ヵ年計画等にコミットする様な立場であれば、将来的に必要な統計項目への意識が働くのであろうが、統計の重要性に関する認識が低い国では、将来計画と統計整備を結びつけて考える事は難しいのかも知れない。

この点については、援助国や国連など国際機関が様々な援助を投入する場面で、統計整備の重要性に関する提言や勧告を実施する必要がある。統計整備が全てのセクターに資する情報インフラの整備である事を強調しなければならない。

CLM3カ国の draft NSIC(Section C)の構築が、ERIA の協力の下で 2010 年 2 月に完了した。

2. 活動範囲

- (a) 製造業統計比較マトリクス表 (ISIC Rev.4/ ACIC ベース 4 桁)を作成し、4 桁レベルの製造業データを比較する必要な研究を実施し、東アジア地域における比較可能な製造業データの課題に対処するための適切な手法を開発するなど必要な方策を提示する。

EAMIC によるデータ拠出し、ECMAT を作成する事になっているが、データの拠出期限は 2010年12月と決められ、この期限に向けて各国が準備を進めている。2010年2月にジャカルタにおいて開催された EAMS ワークショップでは、半数以上の国からデータの拠出があった。

- (b) 特に東アジア地域の製造業活動のために、ISIC Rev.4/ACIC を基準とした 4 桁レベルの製造業産業分類の作成のための研究を実施し、必要に応じて対応表を作成する。

EAMIC と ISIC 間の対応表は作成し、各国に配布した。各国は、NSIC と EAMIC 間、NSIC と ISIC Rev.4 間の変換表を有している。

- (c) 国際比較可能な製造業統計の調和を促進するために必要な人材育成支援をメンバー国や関連機関の協力の下に実施する。

可能な限り、ASEAN help ASEAN スキーム活用している。シンガポールで開催したセミナーには韓国統計局と中国統計局から講師を招聘するなど、東アジア内における人的ネットワークの構築は進んでいる。また、AHSOM に日中韓がオブザーバで招聘される様になっている。この関係をさらに促進する事が非常に重要である事に気付いて戴きたい。

- (d) 上記の活動を促進するため、東アジア地域の製造業統計機関とのネットワークを構築する。

東アジア製造業統計専門家会議 (EAMS、以下同じ) や AHSOM を通じて人的ネットワークが構築された。ASEAN 事務局は、EAMS の事務局でもあるのもっと綿密な連携を持ち、意見を尊重する必要がある。

- (e) EAMS は、本分野において、AHSOM 及び AMEICC/WGS との密接な協調関係を発展又は維持しながら活動を行う。

AHSOM への招聘は恒常化し、AMEICC とは年 1 回の会議を共同で開催している。

3. メンバー国

ASEAN 諸国、中国、日本及び韓国の製造業統計専門家から構成される。

4. 議長

開催国と日本の共同議長方式とする。

5. 開催頻度

必要に応じて1年に1回以上開催するものとし、開催日及び開催場所はメンバー国の合意とする。

6. 事務局

日本の経済産業省とアセアン事務局とする。

表6－1 EAMS の TOR (2007 年 1 月東京会議にて採択)

**Terms of Reference
of the East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics
under ASEAN + 3**

1. Objectives

- (a) Develop common, harmonized manufacturing industry classifications in East Asia reflecting the characteristics of the region as a means of harmonizing statistics and promoting international comparability.
- (b) Develop joint research related to the Manufacturing Statistics Comparative Matrix Table and manufacturing industry classifications at 4-digit levels, harmonized with the ACIC, at 3 digits, and with the ISIC Rev. 4/4-digits, to promote international comparability for the purpose of developing future manufacturing statistics in East Asia (defined as “ASEAN + 3” countries for the purposes of this document).
- (c) Provide capacity-building programs to support the above goals.

2. Scope of Activities

- (a) Develop a Manufacturing Statistics Comparative Matrix Table (ISIC Rev. 4/ACIC base, 4 digits), carry out the necessary studies to enable comparison of the manufacturing industry data at 4-digit levels, and propose necessary measures, such as developing the appropriate methodology to address issues related to the comparability of manufacturing industry data of East Asia.
- (b) Conduct joint research on developing common manufacturing industry classifications at 4-digit levels, especially for manufacturing industry activities in East Asia, based on the ISIC Rev. 4 and ACIC, and compile correspondence tables as necessary.
- (c) Implement support for the human resources needed to promote harmonization of internationally comparable manufacturing statistics with the cooperation of member countries and relevant organizations.
- (d) Establish a network of manufacturing statistics organizations in East Asia to promote the above activities.
- (e) The East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics (hereinafter “EAMS”) will conduct activities in this field while developing or maintaining close cooperative relationships with AHSOM and AMEICC/WGS.

3. Membership

The EAMS shall be composed of experts in the manufacturing statistics of ASEAN countries, People's Republic of China, Japan, and Republic of Korea.

4. Chairpersonship

The EAMS shall be co-chaired by the meeting's host country and Japan.

5. Meeting Schedule

The EAMS shall meet at least once a year, or more often, should the need arise. Meeting dates and venues shall be mutually agreed upon by member countries.

6. Secretariat

The Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) of Japan, and the ASEAN Secretariat shall serve as the EAMS Secretariat.

TOR の進捗を項目毎に確認すると、当初スケジュール感に沿った形で進捗し、成果が出ている事が判る。

6.2 EAMS に関する内外からの評価

2010 年 1 月 26 日-27 日の 2 日間にわたって実施された AHSOM10 では、総じて EAMS に対する評価は高かった。会議終了後、シンガポール統計局長やタイ統計局長からは、地域としての取組みを継続的に実施して来た事を高く評価している事、AHSOM と EAMS の連携が上手く進んでいる事を高く評価している事、等のコメントを戴いた。

アセアン事務局は、EAMS の活動内容を「グッドプラクティス」として高く評価しており、既にオーストラリア統計局とニュージーランド統計局に対して、アセアンとの協働を考える時には EAMS を参考にすると伝えている。これは EAMS に対する最高の評価ではないだろうか。

アセアンと言う「面(地域)」に対するアプローチの仕方は間違っていなかった様である。

6.3 CLM 3 カ国の現状について

次に、CLM の統計整備に関する意識の向上に関してであるが、当初は CLM3 カ国を横並びで考えて来たが、カンボジアの動きが他に比べて活発化している。

ERIA で計画したワークショップ(2010 年 1 月)に先駆けて、2009 年 11 月に CSIC 策定に関する委員会が関連省庁の賛同を得て正式に発足した。委員長は、統計局長の Mr.San SY Tan が努めるため、統計局主導で NSIC を構築する事が可能となった。これは大変な進捗である。プロジェクトの OUTCOME としては、理想的ではないだろうか。当然、当該委員会は全セクターを意識した NSIC (CSIC) の構築を目指しているが、ERIA で取組む製造業(Section C)をモデルとして、他セクターに拡大する事も決定されている。またカンボジアにおいても、2009 年度 ERIA によるキャパシティビルディングプロジェクトの結果、自国の産業分類(NSIC, Section C)が出来上がり、また EAMIC の対応表も完成するなど成果が出ている。さらに、カンボジアが EAMS の一連の活動を評価しているもう 1 つの顕れとして、EAMIC Ver.1 を経済センサスの試験調査に既に適用している事が挙げられる。背景には、JICA プロジェクトが同時に進行している事があるが、これは本当に大きな前進である。

また、ミャンマーとラオスについても、2009 年度 ERIA によるキャパシティビルディングプロジェクトの結果、自国の産業分類(NSIC, Section C)が出来上がり、また EAMIC の対応表も完成し、成果が発出した状況である。今後はカンボジアの進捗を共有するなど、身近なケース・スタディを活用する方策の検討が期待される。

ラオスは 2012 年に経済センサスを計画し、日本にも技術協力を要請している。カンボジアの事例を見ても判るが、プロジェクトの波及効果は、様々なタイミングが合うと思われ相乗効果を産み出す様だ。良いケース・スタディを活かしながら、効果的な技術協力案件が形成出来る好機が目の前に存在している。

6.4 将来の東アジア地域が抱える課題

(1) 東アジア地域における産業統計整備にかかるグランド・デザイン策定の必要性について

現在、東アジア諸国の統計局が作成する産業統計のレベルは、グローバル、地域、各国の3レベルに大別されており、近年になってようやく、地域の視点が導入されるようになった。AHSOM(ASEAN 統計局長会議)や ESCAP 等では、それぞれの会議体の下で域内 Strategic Plan(戦略的開発計画)の策定を始めている。限られたリソースを活用するために、統計整備の優先順位を検討し、さらに域内の協働システムとして相互サポートの概念を導入している事は評価に値する。そのメカニズムは、"ASEAN help ASEAN"メカニズムと命名されており、南南協力とは呼び方が異なるが、その基本コンセプトは同じで域内におけるサポート制度の構築を目指している。

東アジア共同体を標榜する現在、地域的には AHSOM と UNESCAP の中間的な位置付けとなる東アジア地域として、上記 Strategic Plan と整合する形で、東アジア地域の産業統計整備に関する「グランド・デザイン」を検討する必要がある。少なくとも、目指す方向性(最終ゴール)が存在しないと、統計専門家の人材開発にしても、データベースの構築にしても、その優先順位を検討する判断軸すら持てないことになる。

(2) 国際機関との連携、他地域への波及など

第3回 EAMS(北京会議:2008年6月)において、EAMS は製造業統計に関する「地域としての見解」や「Regional Standard の整備」について AHSOM を通じて UNSC(国連統計委員会)に提言することなどを話し合った。仮に UNSC に対する提言が実現すれば、地域統計整備の1つのグッドプラクティスとなり、他地域(例えば中南米、アフリカ、中央アジアなど)への波及も期待される。これは UNSD(国連統計部)が EAMS を高く評価している要因である。これまで各地域レベルへの統計世界標準に苦慮してきた UNSD としては、EAMS が地域的な取り組みを ASEAN ドリブンで順調に展開している姿に驚くと共に、その活動内容に高い関心を示している。国連統計部長の Dr. Paul Cheung は、アフリカや中央アジアにおける国連主催の統計セミナーにおいて、EAMS の地域統計整備に関する活動を積極的に紹介しており、モデル・ケースとして高い評価を与えている。また、UNSD の HP 等においても UNSD と EAMS との協調関係が紹介されている。AHSOM10(第10回 ASEAN 統計局長会議:2010年1月)には、オーストラリア、ニュージーランド、EUROSTAT がオブザーバで参加していたが、ASEAN+3 の胎動に刺激されるかのように、ASEAN との協働に関する Strategic Plan を同会議で発表した。ようやく、東アジア地域の統計セクターにおける ASEAN の位置付けを理解し始めたようだ。ASEAN を無視して、東アジア共同体の構築は有り得ない。特にコンセプト・ペーパーから実施へ移行する場合、この真意が判るはずだ。

東アジア地域の域内統計整備が進めば、次には地域間整合の課題が生まれてくる。まだまだ取組む課題は尽きない。

巻末資料

No.	資料	ページ
1	EAMIC Ver. 1.0	1
2	EAMIC Ver. 1.0 と工業統計6桁品目の対応表	9
3	1 st EAMS – Chair Summary	35
4	2 nd EAMS – Co-chair Summary	41
5	3 rd EAMS – Co-chair Summary	49

EAMIC Ver. 1.0 STRUCTURE

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
10			Manufacture of food products
	101		Processing and Preserving of Meat
		1011	Slaughtering and packing of meat (except poultry)
		1012	Slaughtering and packing of poultry meat
		1013	Processing and preserving meat and poultry meat products
	102		Processing and Preserving of fish, crustaceans and molluscs
		1021	Processing and preserving of fish and fish products, fresh, chilled or frozen
		1022	Production of canned fish
		1023	Processing and preserving of crustaceans and molluscs
		1024	Production of canned crustaceans and molluscs
		1025	Production and processing of seaweeds
		1029	Processing and preserving of other fish and marine products, n.e.c.
	103		Processing and preserving of fruit and vegetables
		1031	Processing and preserving of fruit and vegetables
		1032	Production of canned fruit and vegetables
		1033	Production of fruit or vegetable juices
		1039	Production of other fruit or vegetable products, n.e.c.
	104		Manufacture of vegetable and animal oils and fats
		1041	Manufacture of vegetable oil (except palm oil ,coconut oil and Corn oil)
		1042	Manufacture of coconut oil, copra cake, meals and pellets
		1043	Manufacture of palm oil
		1044	Manufacture of corn oil
		1045	Manufacture of animal oil and fats
		1049	Manufacture of other vegetable and animal oils and fats, n.e.c.
	105		Manufacture of dairy products
		1051	Processing of fresh milk and manufacture of cream
		1052	Manufacture of powdered milk and condensed or evaporated milk (filled, combined or reconstituted)
		1053	Manufacture of ice cream and sherbet, ice drop, ice candy and other flavoured ices
		1059	Manufacture of dairy products, n.e.c.
	106		Manufacture of grain mill products, starches and starch products
		1061	Manufacture of grain mill products (except rice/corn)
		1062	Manufacture of starches and starch products (except corn)
		1063	Rice/corn milling and manufacture of rice/corn flour

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
	107		Manufacture of other food products
		1071	Manufacture of bakery products
		1072	Manufacture of sugar
		1073	Manufacture of cocoa, chocolate and sugar confectionery
		1074	Manufacture of macaroni, noodles, couscous and similar farinaceous products
		1075	Manufacture of prepared meals and dishes
		1076	Manufacture of coffee, tea and herb infusion
		1077	Manufacture of processed spices, sauces, condiments, and other cooking products
		1079	Manufacture of other food products n.e.c.
	108		Manufacture of prepared animal feeds
		1080	Manufacture of prepared animal feeds
11			Manufacture of beverages
	110		Manufacture of beverages
		1101	Distilling, rectifying and blending of spirits
		1102	Manufacture of wines
		1103	Manufacture of malt liquors and malt
		1104	Manufacture of soft drinks
		1105	Manufacture of drinking water and mineral water
		1109	Manufacture of other beverages, n.e.c.
12			Manufacture of tobacco products
	120		Manufacture of tobacco products
		1201	Manufacture of cigarettes and cigars
		1209	Manufacture of other tobacco products, n.e.c.
13			Manufacture of textiles
	131		Spinning, weaving and finishing of textile
		1311	Preparation and spinning of textile fibres
		1312	Weaving of textiles
		1313	Finishing of textiles
	139		Manufacture of other textiles
		1391	Manufacture of knitted and crocheted fabrics
		1392	Manufacture of made-up textile articles, except apparel
		1393	Manufacture of carpets and rugs
		1394	Manufacture of cordage, rope, twine and netting
		1399	Manufacture of other textiles n.e.c.
14			Manufacture of wearing apparels
	141		Manufacture of wearing apparel, except fur apparel
		1411	Manufacture of wearing apparel (except tailoring and dressmaking)
		1412	Custom tailoring and dressmaking
		1413	Manufacture of clothing accessories primarily made of textile
	142		Manufacture of articles of fur

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
		1420	Manufacture of articles of fur
	143		Manufacture of knitted and crocheted apparel
		1430	Manufacture of knitted and crocheted apparel
15			Manufacture of leather and related products
	151		Tanning and dressing of leather; manufacture of luggage, handbags, saddlery, and harness; dressing and dyeing of fur
		1511	Tanning and dressing of leather; dressing and dyeing of fur
		1512	Manufacture of luggage, handbags and the like, saddlery and harness
	152		Manufacture of footwear
		1520	Manufacture of footwear
16			Manufacture of wood and of products of wood and cork, except furniture; manufacture of articles of straw and plaiting materials
	161		Sawmilling and planing of wood
		1610	Sawmilling and planing of wood
	162		Manufacture of products of wood and cork, straw and plaiting materials
		1621	Manufacture of veneer sheets; manufacture of plywood, laminboard, particle board and other panels and board
		1622	Manufacture of carpentry and joinery
		1623	Manufacture of wooden containers
		1629	Manufacture of other products of wood; manufacture of articles of cork, straw and plaiting materials
17			Manufacture of paper and paper products
	170		Manufacture of paper and paper products
		1701	Manufacture of pulp, paper and paperboard
		1702	Manufacture of corrugated paper and paperboard and of containers of paper and paperboard
		1709	Manufacture of other articles of paper and paperboard
18			Printing and reproduction of recorded media
	181		Printing and service activities related to printing
		1811	Printing
		1812	Service activities related to printing
	182		Reproduction of recorded media
		1820	Reproduction of recorded media
19			Manufacture of coke and refined petroleum products
	191		Manufacture of coke oven products
		1910	Manufacture of coke oven products
	192		Manufacture of refined petroleum products
		1921	Manufacture of refined petroleum products
		1929	Manufacture of other petroleum products

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
20			Manufacture of chemicals and chemical products
	201		Manufacture of basic chemicals, fertilizers and nitrogen compounds, plastic and synthetic and primary form
		2011	Manufacture of basic chemicals
		2012	Manufacture of fertilizers and nitrogen compounds
		2013	Manufacture of plastics and synthetic rubber in primary forms
	202		Manufacture of other chemical products
		2021	Manufacture of pesticides and other agrochemical products
		2022	Manufacture of paints, varnishes and similar coatings, printing ink and mastics
		2023	Manufacture of soap and detergents, cleaning and polishing preparations, perfumes and toilet preparations
		2029	Manufacture of other chemical products n.e.c
	203		Manufacture of man-made fibres
		2030	Manufacture of man-made fibres
21			Manufacture of pharmaceuticals, medicinal chemical and botanical products
	210	2100	Manufacture of pharmaceuticals, medicinal chemical and botanical products
22			Manufacture of rubber and plastic products
	221		Manufacture of rubber products
		2211	Manufacture of rubber tyres and tubes; retreading and rebuilding of rubber tyres
		2219	Manufacture of other rubber products
	222		Manufacture of plastics products
		2221	Manufacture of builders' plastic wares
		2222	Manufacture of plastics articles for the packaging of goods
		2223	Manufacture of finished plastics products
		2229	Manufacture of other plastics products, n.e.c.
23			Manufacture of other non-metallic mineral products
	231		Manufacture of glass and glass products
		2310	Manufacture of glass and glass products
	239		Manufacture of non-metallic mineral products n.e.c.
		2391	Manufacture of refractory products
		2392	Manufacture of clay building materials
		2393	Manufacture of other porcelain and ceramic products
		2394	Manufacture of cement, lime and plaster
		2395	Manufacture of articles of lime, cement and plaster
		2396	Cutting, shaping and finishing of stone
		2399	Manufacture of other non-metallic mineral products n.e.c.

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
24			Manufacture of basic metals
	241		Manufacture of basic iron and steel
		2410	Manufacture of basic iron and steel
	242		Manufacture of basic precious and other non-ferrous metals
		2420	Manufacture of basic precious and other non-ferrous metals
	243		Casting of metals
		2431	Casting of iron and steel
		2432	Casting of non ferrous metals
25			Manufacture of fabricated metal products, excepts machinery and equipment
	251		Manufacture of structural metal products, tanks, reservoirs and steam generator
		2511	Manufacture of structural metal products
		2512	Manufacture of tanks, reservoirs and containers of metal
		2513	Manufacture of steam generators, excepts central heating hot water boilers
	252		Manufacture of weapons and ammunition
		2520	Manufacture of weapons and ammunition
	259		Manufacture of other fabricated metal products and metalworking services activities
		2591	Forging, pressing, stamping and roll-forming of metal; powder metallurgy
		2592	Machining; treatment and coating of metals
		2593	Manufacture of cutlery, hand tools and general hardware
		2594	Manufacture of pails, cans, drums and similar containers of metal
		2595	Manufacture of chain, spring and articles made of wire
		2599	Manufacture of other fabricated metal products n.e.c.
26			Manufacture of computers, electronic and optical products
	261		Manufacture of electronic components
		2611	Manufacture of electronic valves and tubes
		2612	Manufacture of semi-conductor devices and other electronic components
	262		Manufacture of computers and peripheral equipment
		2621	Manufacture and/or assembly of electronic computers
		2622	Manufacture of computer peripheral equipment
	263		Manufacture of communication equipment
		2631	Manufacture of telecommunication equipment (except wireless communications equipment)
		2632	Manufacture of wireless communications equipment
		2639	Manufacture of communications equipment, n.e.c.
	264		Manufacture of consumer electronics
		2641	Manufacture and/or assembly of televisions
		2642	Manufacture of audio and visual recording, receiving and duplicating equipment (except televisions)
		2649	Manufacture of other consumer electronics equipment, n.e.c.

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
	265		Manufacture of measuring, testing, navigating and control equipment, watches and clocks
		2651	Manufacture of measuring, testing, navigating and control equipment
		2652	Manufacture of watches and clocks
	266		Manufacture of irradiation, electromedical and electrotherapeutic equipment
		2660	Manufacture of irradiation, electromedical and electrotherapeutic equipment
	267		Manufacture of optical instruments and equipment
		2671	Manufacture of photographic equipment
		2679	Manufacture of other optical instruments and photographic equipment, n.e.c.
	268		Manufacture of magnetic and optical media
		2680	Manufacture of magnetic and optical media
27			Manufacture of electrical equipment
	271		Manufacture of electric motors, generators, transformers and electricity distribution and control apparatus
		2711	Manufacture of electric motors, generators, transformers and electric generating sets
		2712	Manufacture of electricity distribution and control apparatus
	272		Manufacture of batteries and accumulators
		2720	Manufacture of batteries and accumulators
	273		Manufacture of wiring and wiring devices
		2731	Manufacture of fibre optic cables
		2732	Manufacture of other electronic and electric wires and cables
		2733	Manufacture of wiring devices
	274		Manufacture of electric lighting equipment
		2740	Manufacture of electric lighting equipment
	275		Manufacture of domestic appliances
		2751	Manufacture of domestic electric appliances
		2752	Manufacture of domestic electrothermic appliances
		2753	Manufacture of domestic non-electric cooking and heating equipment
		2759	Manufacture of other domestic appliances, n.e.c.
	279		Manufacture of other electrical equipment
		2790	Manufacture of other electrical equipment
28			Manufacture of machinery and equipment n.e.c
	281		Manufacture of general-purpose machinery
		2811	Manufacture of engines and turbines, except aircraft, vehicle and cycle engines
		2812	Manufacture of fluid power equipment
		2813	Manufacture of other pumps, compressors, taps and valves
		2814	Manufacture of bearings, gears, gearing and driving elements

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
		2815	Manufacture of ovens, furnaces and furnace burners
		2816	Manufacture of lifting and handling equipment
		2817	Manufacture of office machinery and equipment (except computers and peripheral equipment)
		2818	Manufacture of power-driven hand tools
		2819	Manufacture of other general-purpose machinery
	282		Manufacture of special-purpose machinery
		2821	Manufacture of agricultural and forestry machinery
		2822	Manufacture of metal forming machinery and machine tools
		2823	Manufacture of machinery for metallurgy
		2824	Manufacture of machinery for mining, quarrying and construction
		2825	Manufacture of machinery for food, beverage and tobacco processing
		2826	Manufacture of machinery for textile, apparel and leather production
		2829	Manufacture of other special purpose machinery
29			Manufacture of motor vehicles, trailers and semi-trailers
	291		Manufacture of motor vehicles
		2910	Manufacture and/or assembly of motor vehicles
	292		Manufacture of bodies(coachwork) for motor vehicles; manufacture of trailer and semitrailer
		2920	Manufacture of bodies(coachwork) for motor vehicles; manufacture of trailer and semitrailer
	293		Manufacture of parts and accessories for motor vehicles
		2930	Manufacture of parts and accessories for motor vehicles
30			Manufacture of other transport equipment
	301		Building of ships and boats
		3011	Building of ships and floating structures
		3012	Building of pleasure and sporting boats
	302		Manufacture of railway locomotives and rolling stock
		3020	Manufacture of railway locomotives and rolling stock
	303		Manufacture of air and spacecraft and related machinery
		3030	Manufacture of air and spacecraft and related machinery
	304		Manufacture of military fighting vehicles
		3040	Manufacture of military fighting vehicles
	309		Manufacture of transport equipment n.e.c.
		3091	Manufacture of motorcycles
		3092	Manufacture of bicycles and invalid carriages
		3099	Manufacture of other transport equipment n.e.c
31			Manufacture of furniture
	310		Manufacture of furniture
		3100	Manufacture of furniture

Division	Group	Class ISIC Rev.4 / EAMIC	Description
32			Other manufacturing
	321		Manufacture of jewellery, bijouterie and related articles
		3211	Manufacture of jewellery and related articles made of precious and semi-precious materials
		3212	Manufacture of costume jewellery and related articles
	322		Manufacture of musical instruments
		3220	Manufacture of musical instruments
	323		Manufacture of sports goods
		3230	Manufacture of sports goods
	324		Manufacture of games and toys
		3240	Manufacture of games and toys
	325		Manufacture of medical and dental instruments and supplies
		3250	Manufacture of medical and dental instruments and supplies
	329		Other manufacturing n.e.c.
		3290	Other manufacturing n.e.c.
33			Repair and installation of machinery and equipment
	331		Repair of fabricated metal products, machinery and equipment
		3311	Repair of fabricated metal products
		3312	Repair of machinery
		3313	Repair of electronic and optical equipment
		3314	Repair of electrical equipment
		3315	Repair of transport equipment, except motor vehicles
		3319	Repair of other equipment
	332		Installation of industrial machinery and equipment
		3320	Installation of industrial machinery and equipment
24	71	180	

as at 12 February 2009

61 new classes with 3 reworded classes

**The First EAST ASIA EXPERTS MEETING
on MANUFACTURING STATISTICS (EAMS)
22-23 January 2007, TOKYO, Japan**

CHAIR SUMMARY

1. The First EAST ASIA EXPERTS MEETING on MANUFACTURING STATISTICS (EAMS) (hereinafter referred to as “the Meeting”) was held in Tokyo, Japan, organized by METI on 22-23 January 2007. The Meeting was attended by representatives from ASEAN member countries (Brunei Darussalam, Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, The Philippines, Singapore, Thailand and Vietnam), China, Japan, Republic of Korea. Representatives of UNSD, UNSIAP, the AMEICC Secretariat, the ASEAN Secretariat, and Keio University (hereinafter referred to as “the Participants”) also attended. The list of participants is attached hereto as **Annex 1**.

2. The Meeting was opened by Mr. Masahiro Hosokawa, Director-General of the Research and Statistics Department, the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Japan who extended a warm welcome to all participants. Mr. Hosokawa expressed his great appreciation for the establishment of the EAMS and mentioned that the meeting proposed by Mr. Toshihiro Nikai, former METI Minister was agreed at the AEM Plus Three Ministerial Meeting in Malaysia in August 2006 and that Mr. Nikai also emphasized the importance of promoting internationally comparable manufacturing statistics in East Asia. Mr. Hosokawa also mentioned that the Prime Minister Shinzo Abe also expressed his continued willingness to support the development of industrial statistics. The Opening Remarks are attached hereto as **Annex 2**.

3. Mr. Hosokawa, Director-General of the Research and Statistics Department in the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Japan chaired the Meeting.

4. The Meeting adopted the Agenda, which is attached hereto as **Annex 3**.

(a) Overall activities of AHSOM and AMEICC WGS

5. The ASEAN Secretariat provided an overview of AHSOM and an update on AHSOM 7 held in Brunei Darussalam on 21-22 November 2006, focusing on advances made in the development and harmonization of statistics in the ASEAN region. The Secretariat also briefed the participants on the overall statistics initiatives under AHSOM, the current status of the statistics working group/task force including the harmonization of statistical classifications in

ASEAN, a collaborative project among ASEAN members to develop an ASEAN Common Industrial Classification (ACIC) at the three-digit level and correspondence tables to ensure comparability of national standard industrial classifications, based on ISIC Rev. 4. All ASEAN Member Countries at the AHSOM7 endorsed ACIC.

6. The ASEAN Secretariat briefed the meeting on the decisions made at AHSOM7 in which ASEAN countries agreed to provide the necessary manufacturing industry data at four-digit level of ISIC Rev.4 to the EAMS for promoting comparability and welcomed the initiative to organize the EAMS. The ASEAN Secretariat also proposed to conduct certain collaborative work with the EAMS on the harmonization of statistics classifications. The Meeting expressed appreciation for the endorsement by the AHSOM, and agreed to seek ways of addressing comparability problems in collaboration with the AHSOM. The ASEAN Secretariat's paper appears as **Annex 4**.

7. The AMEICC Secretariat gave an overview of the overall AMEICC structure and its activities including those of WGS. The AMEICC Secretariat briefed the meeting that WGS agreed to expand the target region for examination of international comparability of industrial statistics from "ASEAN-Japan" to "ASEAN Plus Three (China, Japan and ROK)" and to establish EAMS at the 5th AMEICC WGS in Phnom Penh, Cambodia on June 7-8 2006. The AMEICC Secretariat's paper is attached hereto as **Annex 5**.

(b) Background to the Meeting

8. The EAMS Secretariat (METI) briefed the meeting on the background, rationale, and preparations for the holding of the Meeting, highlighting the correlation of AMEICC WGS, AHSOM, and EAMS. The Meeting also took note that the proposal of AMEICC WGS to hold the Meeting (EAMS) was agreed by the AEM+3 Ministerial Meeting held in Malaysia in August 2006. The EAMS paper is attached hereto as **Annex 6**.

(c) Adoption of Terms of Reference and Work Program

9. Japan briefed the Meeting on the draft Terms of Reference, which incorporated the comments made by member countries since last December, as well as the Work Program. The meeting recognized the different situation and stages of implementation of ISIC rev.4 as explained by Indonesia, Vietnam and Malaysia, but agreed to submit manufacturing industry data based on ISIC rev 4 at 4 digit starting end 2008 as agreed earlier at AHSOM 7. Professor Masahiko Shimizu of Keio University highlighted the need to define the confidentiality. Dr. Paul Cheung stressed the importance of capacity building program; in

particular he highlighted the need to assist countries in developing Business Frame. The Meeting noted all comments and agreed to discuss the issues highlighted by Dr. Cheung and Prof. Shimizu at the next meeting. The meeting adopted the Terms of Reference and Work Program, which are attached hereto as **Annex 7**.

(d) Manufacturing Statistics -Maintaining Comparability in a Changing World-

10. Dr. Paul Cheung of UNSD first presented a summary report on UNSD activities and new challenges, and welcomed the establishment of the EAMS with the aim of developing internationally comparable manufacturing statistics in the East Asia region (ASEAN+3). He then identified the various problems that have risen with the change in the manufacturing industry structure, and reported on issues that need to be addressed when developing manufacturing statistics in the future. Lastly, he stressed the importance of reflecting the characteristics of the region's manufacturing industry, and the crucial role of the EAMS as a forum for the exchange of opinions within the manufacturing industry.

11. He also mentioned that UNSD praised and welcomed EAMS's efforts, and expressed his hope that EAMS activities would serve as a model for organizing manufacturing statistics (four-digit level) that reflect the characteristics of the region. The UNSD paper is attached hereto as **Annex 8**.

12. The Meeting noted the issues presented by Dr. Paul Cheung and the meeting appreciate his recognition of this initiative

(e) Necessity of a Regional Standard for Manufacturing Statistics in East Asia

13. Professor Masahiko Shimizu of Keio University called for an organization of government statistics that enables comparison of production activities of manufacturing industries in each nation to analyze the East Asian regional economy. A common industrial classification (manufacturing industry) for the East Asia region must be organized to accomplish this, and Professor Shimizu reported on the necessity, referring to the NAICS case.

14. In addition to emphasizing the significance of addressing industrial classifications that reflect regional characteristics in East Asia, Professor Shimizu's presentation also touched upon the importance of developing internationally comparable manufacturing statistics (Section C, four-digit level). He also emphasized that developing internationally comparable manufacturing statistics for the ASEAN+3 including China, Japan and ROK is crucial, and that it would contribute to economic growth in the East Asian region.

15. Professor Shimizu also emphasized that the issues related to standardization of definition, methodology and statistical unit used in manufacturing survey are crucial and need to be studied in depth. These issues have also been emphasized by other presenters. EAMS has also included these issues in the work program.

16. The Meeting noted Professor Shimizu's message that manufacturing statistics (four-digit level) that reflects regional characteristics must be organized. The presentation is attached hereto as **Annex 9**.

*(f) Approach to improving Manufacturing Statistics Comparability
-A Perspective from the National SIC development-*

17. Ms. Pin Pin Quah, expert in Statistical Classification highlighted the direction of improvements in the international comparability of industrial statistics.

18. Ms. Pin Pin addressed the problems in creating the comparable data among the ASEAN member countries based on the current national SIC which is based on ISIC rev 3. She emphasized the importance of the development of the national SIC based on ISIC rev 4, and the essential for ASEAN member countries to establish a shared understanding and formulate a cooperative framework.

19. The meeting noted Ms. Pin Pin's suggestion and will take note on it for future development of an East Asia version of ACIC/ISIC/NSIC four-digit classification (manufacturing sector) in East Asia.

(g) The International Comparability of Manufacturing Statistics in EAMS member countries

20. Dr. Kuroda, the METI Study Team, presented the results of a study on "The Potential for International Comparability of Manufacturing Statistics in Member countries," which has been conducted by AMEICC WGS since 2002.

21. He indicated that the four-digit manufacturing statistics data obtained has low international comparability, and cited the following four issues:

- (1) International comparability declines when actual figures (numerical data) are applied
- (2) The region has yet to develop a harmonized/common industrial classification (four-digit level, Section C)
- (3) Differences in stage of development influence the extent to which their

manufacturing statistics are organized

- (4) There are differences among member countries in the definitions and survey methods associated with manufacturing statistics

22. Dr. Kuroda also pointed out that it would be important to work with AHSOM, which had already developed ACIC, reflecting regional characteristics, and to incorporate the results in the activities of EAMS. He also identified that EAMS should focus on the above mentioned item (2) of para 21 and consider an Industrial Classification (ISIC Rev4/ACIC based) that reflects regional characteristics, and that EAMS must obtain Census data (Economic Census, Establishment Census, among others).

23. The results of the study also showed the significance of establishing manufacturing industry statistics (on the four-digit level) in East Asia, and the importance of developing an East Asia version of ACIC/ISIC four-digit classification (manufacturing sector). Dr. Kuroda's presentation also instilled some useful comments by member countries. Brunei Darussalam, Indonesia, Lao PDR, Malaysia and The Philippines provided the useful information on the current situation of industrial statistics in their respective countries. Dr. Paul Cheung commented that it was a huge task to accomplish international comparability in statistics, but the Meeting today was at the beginning of this important task. He also suggested that EAMS learn from other economic organizations such as Eurostat that have achieved international comparability in statistics. Professor Masahiko Shimizu strongly supported his idea. The presentation material is attached hereto as **Annex 11**.

(h) Date, venue, and agenda of the next meeting

24. Lao PDR proposed to host the 2nd EAMS in conjunction with AMEICC/WGS, in Vientiane, Lao PDR, in May or June 2007.

25. The Meeting expressed appreciation for the Lao PDR's kind proposal, and agreed that the 2nd Meeting of EAMS would be convened in Vientiane, Lao PDR.

26. The Meeting announced items for the tentative agenda of the next meeting, such as "Assessment of Manufacturing Statistics Comparative Matrix Tables based on ISIC rev 3," "Commencement of an Experimental Manufacturing Industry Classification as a Pilot Study," and "Review of the Current Status of Manufacturing Industry Classifications in Member Countries," as well as "Capacity Building" and "Confidentiality," as proposed by this meeting, and the work program which would prioritize issues such as

standardization of definition, methodology, and statistical unit used in manufacturing survey.

27. The Meeting expressed its appreciation to the Government of Japan for its warm hospitality and excellent arrangements made for the Meeting.

28. The EAMS Secretariat informed Participants of the list of EAMS contact persons. The updated list of EAMS contact persons is attached hereto as **Annex 12**.

(i) Adoption of the Chair Summary

29. The Meeting discussed and adopted the summary.

**The Sixth Meeting of AMEICC
Working Group on Statistics (WGS)
and
The Second Meeting of the East Asia Expert Meeting
on Manufacturing Statistics (EAMS)**

3rd - 5th July 2007, Vientiane, Lao PDR

JOINT CO-CHAIRS SUMMARY

1. The Sixth Meeting of AMEICC Working Group on Statistics (WGS) (hereinafter referred to as “AMEICC/WGS Meeting”) and the Second Meeting of the East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics (EAMS) (hereinafter referred to as “EAMS Meeting”) were held from 3rd to 5th July, 2007 in Vientiane, Lao PDR (both meetings hereinafter referred to as “the Meetings”).
2. AMEICC/WGS Meeting was attended by representatives from all ASEAN Member Countries (Brunei Darussalam, Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore, Thailand and Vietnam), Japan, ASEAN Secretariat, EAMS Secretariat, and China and Republic of Korea as observers (hereinafter referred to as “AMEICC/WGS Participants”). The list of the AMEICC/WGS Participants appears in **Annex 1**.
3. EAMS Meeting was attended by the representatives from all ASEAN Member Countries (AMCs) and China, Japan, Republic of Korea, ASEAN Secretariat and AMEICC Secretariat (hereinafter referred to as “EAMS Participants”). The list of the EAMS Participants appears in **Annex 2**.
4. The Meetings were opened by Ms. Khemmani Pholsena, Vice Minister, Ministry of Industry and Commerce, Lao PDR, who extended her warmest welcome to all participants. The opening remarks appear as **Annex 3**.
5. AMEICC/WGS Meeting was co-chaired by Mr. Sirisamphanh Vorachith, Deputy Permanent Secretary, Ministry of Industry and Commerce, Lao PDR and Mr. Naoyuki Sato, Director, Public Relations and International Affairs Office, Research and Statistics Department, Economic and Industrial Policy Bureau, Ministry of Economy, Trade and Industry (hereinafter referred to as “METI”), Japan.
6. EAMS Meeting was co-chaired by Mrs. Phonesaly Souksavath, Deputy Director General, National Statistics Center, Lao PDR and Mr. Naoyuki Sato, Director, Public Relations and International Affairs Office, Research and

Statistics Department, Economic and Industrial Policy Bureau, METI, Japan.

7. The AMEICC Secretariat and the EAMS Secretariat briefed the Meetings Participants on the lists of contact persons for AMEICC/WGS and EAMS. The updated lists of contact persons for AMEICC/WGS and EAMS appear as **Annex 4** and **Annex 5** respectively.

8. The Meetings adopted the Agenda, which is attached hereto as **Annex 6**.

I. AMEICC/WGS Meetings (3rd JULY 2007)

(a) Report on the Overall activities of AHSOM

9. The ASEAN Secretariat briefed on the recent activities of ASEAN Heads of Statistical Offices Meeting (AHSOM), and the decision made at the 7th AHSOM Meeting and the completion of ACIC (ASEAN Common Industrial Classification). The ASEAN Secretariat also explained the activities of the AHSOM-TFSC (Task Force on Harmonization of Statistical Classifications), which had completed the development of ACIC. AHSOM 7 had adopted ACIC as a reference for further development of the respective NSIC (National Standard Industrial Classification) among AMCs.

10. The ASEAN Secretariat reported that AHSOM had agreed to collaborate with EAMS to promote comparability of manufacturing statistics at 4-digit level of ISIC Rev.4 in support of the growing cooperation under ASEAN+3. AHSOM had also agreed to provide manufacturing data at 4-digit level by the end of 2008. The ASEAN Secretariat's paper is attached as **Annex 7**.

(b) Report on Overall activities of AMEICC

11. The AMEICC Secretariat briefed the Meetings on the recent activities of the nine working groups under AMEICC and mentioned that cooperation projects of WGS were reported at the 9th Meeting of AMEICC Ministerial Meeting held in Kuala Lumpur on 23rd August 2006 back to back with 13th AEM-METI Consultation. The AMEICC Secretariat also reported to the Meeting that the formation of EAMS was proposed at the 9th AEM+3 Consultation and the proposal was welcomed by the Ministers. The AMEICC Secretariat's paper is attached as **Annex 8**.

(c) Report on Overall activities of EAMS

12. The EAMS Secretariat briefed the Meetings on the background, the rational, and the result of the 1st Meeting of EAMS, which was held in Tokyo,

Japan, January 22 to 23, 2007, and also explained about the collaboration between EAMS, AMEICC/WGS and AHSOM. The EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 9**.

(d) Revision of work programme of AMEICC/WGS

13. The AMEICC Secretariat proposed the revised work program of AMEICC/WGS with specific time frame for implementation. The Meetings adopted the revised work program, which is attached hereto as **Annex 10**.

(e) Report on Current Status of Industrial Statistics in Member Country

14. AMEICC/WGS Participants briefed the Meetings on the current status of Industrial Statistics in their respective countries, focusing on two subjects: collection of ICT Statistics and the conduct of Economic Census. In response to questions from the Participants, Cambodia explained about the current situation on establishment survey in Cambodia and Lao PDR also introduced the details of the methodology of Economic Census. Each Country's paper is attached as **Annex 11**.

(f) Report on Economic Census in Indonesia

15. The Indonesia representative reported in detail on the implementation of Economic Census of Indonesia. For the 2nd step of the 2006 Economic Census undertaken in 2007, Indonesia informed the Meeting that great efforts have been made to ensure efficient implementation of the entire Census process from planning to data collection and data processing. Indonesia's experience has provided the AMEICC/WGS Participants with very useful information on the conduct of an efficient Economic Census. The AMEICC/WGS Meeting expressed their appreciation to the representative from Indonesia for sharing the experience. Indonesia's paper appears as **Annex 12**.

(g) Report on Capacity Building Programs by AMEICC/WGS and EAMS Activities

16. All member countries reported on the capacity building programs, which were recently provided to/by other countries or organizations. The Meetings noted some member countries have provided technical assistance to other countries. Brunei Darussalam and the Philippines reported the results of the Seminars on Industrial Statistics sponsored by the Japanese government as part of the AMEICC-EAMS capacity building activities and expressed their appreciation to the Japanese Government. The Seminars were held in Bandar Seri Begawan in November 2006 and in Metro Manila in March 2007 respectively. Japan briefed the Participants on the various capacity building

programs organized for AMCs. Each Country's paper is attached as **Annex 11**

17. The Meetings noted with appreciation that these capacity building programs have enhanced the development of the industrial statistics in East Asia.

(h) Other Matters

18. The Meetings agreed to the request of Thailand and Malaysia to hold the Industrial Statistics Seminar in FY 2007.

II. EAMS Meeting (4th JULY 2007)

(i) Report on Terms of Reference (TOR) and Work Program (WP) of EAMS

19. The EAMS Secretariat briefed the Meetings on the TOR and WP of EAMS which were agreed at the 1st EAMS held in Tokyo in January 2007. The Meetings agreed in principle on the deadline stated in the WP to submit manufacturing industry data at 4-digit level of ISIC Rev.4 on the number of establishments or enterprises and total number of employees or workers by the end of 2008. The Philippines, however, raised her concern on the submission of the data on the deadline set. The EAMS Secretariat's paper is attached as **Annex 13**.

(j) Report on Current Status of Industrial Classification in Member Countries

20. Each member country briefed the Meetings on the current status of the industrial classification system in their respective country. Some member countries expressed concern over the difficulties in the development of NSIC (National Standard Industrial Classification) based on ISIC Rev.4 due to lack of technical capacity. Some member countries in particular Cambodia, Lao PDR and Myanmar raised the issue of difficulties in the conversion of their respective NSIC to ISIC Rev.4.

21. The Meetings noted the different stages of development in the revision process of their respective NSIC based on ISIC Rev.4. Each Country's paper is attached as **Annex 11**.

(k) Report on the Formulation of Regional Common Industrial Classification

22. A member of EAMS Secretariat, a former AHSOM-TFSC member, highlighted the direction of improvements in the regional comparability of manufacturing statistics. The EAMS Secretariat highlighted the major changes in the manufacturing section of ISIC Rev.4. The first regional Industrial Classification created by the ASEAN TFSC that is, the ACIC, would be used as one of the source documents to develop EAMIC (East Asia Manufacturing Industrial Classification). The EAMS Secretariat emphasized the importance of the development of NSIC based on ISIC rev 4, and the need to develop correspondence tables between their respective NSIC and EAMIC/ACIC/ISIC Rev.4. The EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 14**.

23. ASEAN Secretariat observed the disparity of development of NSIC based on ISIC Rev.4 in a number of countries, and reiterated the request for Japan to provide the necessary assistance to the AMCs in particular to Cambodia, Lao PDR and Myanmar. Cambodia, Lao PDR and Myanmar confirmed their needs

for technical assistance and suggested that this should be provided as soon as possible.

24. In response to ASEAN Secretariat's request, Japan put forward a tentative proposal of a new technical support program to assist in the development of NSIC among AMCs. In view of the disparity of the statistical development between the AMCs, priority will be given to Cambodia, Lao PDR and Myanmar for this technical support program. The Meetings agreed with Japan's proposal and suggested that ASEAN Secretariat inform AHSOM about this particular Meeting decisions.

(l) Overview of the ASEAN Countries Trade Statistics

25. The ASEAN Secretariat presented a paper on the importance of the manufacturing industry in ASEAN Trade. The Meetings acknowledged the importance of manufacturing industries and the external trade patterns of the AMCs. The paper also highlighted the importance of ASEAN trade with ASEAN +3. The ASEAN Secretariat's paper appears as **Annex 15**.

(m) Report on Issues or Problems for International Comparability: Based on the Manufacturing Statistics Comparative Matrix Table

26. The Study Team reported on the results of the study regarding international comparability for manufacturing statistics among ASEAN+3 countries. Based on the analysis of the Manufacturing Comparative Matrix Table (ISIC Rev.3, 4-digit), the Study Team pointed out some difficulties involved in direct comparison of the data among the countries under the study. The absence of a harmonized common industrial classification (at 4-digit level) constituted the main problem. The Study Team's paper is attached as **Annex 16**.

(n) Proposal for Pilot Study for Formulation of Manufacturing Industry Classification in East Asia

27. Japan proposed an outline of the Pilot Study that had been stipulated in the Work Program of EAMS. The proposal outlines the objectives, time schedule, criteria for selecting model countries and nomination for model countries (Indonesia, The Philippines, Thailand, and Vietnam). The Meetings agreed with the nomination.

28. The Study Team highlighted the activities of the Pilot Study to be carried out in the model countries at the Meetings. The four countries accepted the nomination and assured their cooperation, active participation and contribution to the Pilot Study. However, Indonesia and the Philippines expressed their concern on the submission of manufacturing data on the number of

establishments and number of workers based on the 2006 Economic Census by the end of November 2007. The Meetings noted the plan by the Study Team to hold the first workshop of the Pilot Study in Indonesia in January 2008. Japan's paper is attached as **Annex 17** and the Study Team's paper is attached as **Annex 18**.

(o) Report on Confidentiality in Manufacturing Statistics in Member countries

29. Member countries briefed the Meetings on their respective data confidentiality issues including the criteria for suppression. The Participants shared their experiences on the measures taken to address the confidentiality issues. Each Country's paper is attached as **Annex 11**.

30. ASEAN Secretariat suggested the formulation of guidelines to assist countries in dealing with the confidentiality issues, taking into account country's laws and regulations. The Meetings also agreed to discuss the draft guidelines on the observance of confidentiality in the next EAMS Meeting.

(p) Other Matters

(p-1) Issues to be discussed in the next meeting

31. The Meetings agreed on the tentative agenda of the 7th AMEICC/WGS Meeting covering the following topics: (1) Current status of distributive trade statistics in each country, and (2) Current status of economic census of each country.

32. The Meetings also agreed on the tentative agenda of the 3rd EAMS Meeting: (1) Prototype EAMIC developed from the Pilot Study, (2) Guidelines on the observance of confidential data, (3) Current status on the implementation of ISIC Rev.4, particularly for the manufacturing sector.

(p-2) Date and venue of the next meeting

33. China proposed to hold the 7th AMEICC/WGS Meeting and the 3rd EAMS Meeting in Beijing, China, in May 2008.

34. The Meetings expressed their appreciation for China's kind proposal, and agreed that the 3rd Meeting of EAMS and the 7th Meeting of AMEICC/WGS would be convened in Beijing, China, subject to the final approval of the Government of China.

(p-3) Others

35. The Meetings expressed their deep appreciation to the Government of Lao PDR for its warm hospitality and excellent arrangements made for the Meetings.

**The Third Meeting of the East Asia Expert Meeting
on Manufacturing Statistics (EAMS)
and
The Seventh AMEICC Working Group
on Statistics (WGS)**

28th – 30th May 2008, Beijing, China

JOINT CO-CHAIRS SUMMARY

1. The Third Meeting of the East Asia Expert Meeting on Manufacturing Statistics (EAMS), hereinafter referred to as “EAMS Meeting” and the Seventh Meeting of AMEICC Working Group on Statistics (AMEICC/WGS), hereinafter referred to as “AMEICC/WGS Meeting” were held from 28th to 30th May 2008 in Beijing, China. Both meetings hereinafter is referred to as “the Meetings”.
2. The Meetings observed one minute of silence to express condolences to those who suffered from the cyclone in Myanmar and the Sichuan earthquake in China.
3. EAMS Meeting was attended by representatives from all ASEAN Member States (Brunei Darussalam, Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore, Thailand and Vietnam) and China, Japan, Republic of Korea, ASEAN Secretariat and AMEICC Secretariat hereinafter referred to as “EAMS Participants”. The list of the EAMS Participants appears in **Annex 1**.
4. AMEICC/WGS Meeting was attended by representatives from all ASEAN Member States (AMS), Japan, ASEAN Secretariat, EAMS Secretariat, and observers from China and Republic of Korea, hereinafter referred to as “AMEICC/WGS Participants”. The list of the AMEICC/WGS Participants appears in **Annex 2**.
5. The Meetings were opened by Mr. Xianyu Lin, Deputy Commissioner of National Bureau of Statistics, China, who extended his warmest welcome to all participants. The opening remarks appear as **Annex 3**.
6. Mr. Weiqun Du, Director General, Department of International Cooperation, National Bureau of Statistics, China, welcomed the participants and briefed the Meetings on the business arrangements.
7. EAMS Meeting was co-chaired by Mr. Fujiang Liu, Director General, Department of Industry and Transport Statistics, National Bureau of Statistics,

China, and Mr. Naoyuki Sato, Director, Public Relations and International Affairs Office, Research and Statistics Department, Economic and Industrial Policy Bureau, Ministry of Economy, Trade and Industry, Japan.

8. AMEICC/WGS Meeting was co-chaired by Ms. Carmelita N. Ericta, Administrator, National Statistics Office, the Philippines, and Mr. Naoyuki Sato.

9. EAMS Secretariat and AMEICC Secretariat briefed the Meetings on the lists of contact persons for EAMS and AMEICC/WGS. The updated lists of contact persons for EAMS and AMEICC/WGS appear as **Annex 4** and **Annex 5**, respectively.

10. The Meetings adopted the Agenda, which is attached hereto as **Annex 6**.

I. EAMS Meeting (28th MAY 2008)

(a) Report on the Overall activities of AHSOM

11. ASEAN Secretariat briefed EAMS Meeting on the recent activities under the purview of ASEAN Heads of Statistical Offices Meeting (AHSOM), and the decisions made at the 8th AHSOM Meeting. ASEAN Secretariat explained ASEAN Community Progress Monitoring System (ACPMS), ASEAN Statistical Indicators (ASI) framework, ASEAN website and other statistical activities, which are currently ongoing under AHSOM initiative.

12. ASEAN Secretariat reported that AHSOM had agreed to collaborate with EAMS to promote comparability in manufacturing statistics among the region at 4-digit level of ISIC Rev.4. ASEAN Secretariat also mentioned the importance of developing National Standard Industrial Classification (NSIC) in Cambodia, Lao PDR, and Myanmar (CLM) in order to achieve further international comparability. ASEAN Secretariat's paper is attached as **Annex 7**.

(b) Report on the Overall activities of EAMS

13. EAMS Secretariat provided an overview of the background, mission, and the results of the first and second EAMS Meetings and current activities including the first year pilot study activities. EAMS Secretariat also explained about the collaboration among EAMS, AMEICC/WGS and AHSOM. EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 8**.

(c) Report on the Current Status of the Implementation of ISIC Rev.4 in Member Countries

14. EAMS Participants presented the current status of the implementation of ISIC Rev.4 in their respective countries. EAMS Meeting noted with appreciation the implementation process, which has taken place in most of the countries. The splitting of some classes of ISIC Rev.3 into new classes of ISIC Rev.4 has created a universal problem in data comparability. Each Country's paper is attached as **Annex 9**.

(d) Report on the Overall activities of EAMS Pilot Study

15. EAMS Secretariat briefed EAMS Meeting on the activities of the first year EAMS Pilot Study, focusing on activities in Thailand in September 2007 and the workshop and meeting held in Indonesia in January 2008.

16. EAMS Secretariat in particular, described the process for formulating the Draft East Asia Manufacturing Industrial Classification (EAMIC) and explained the relationship among EAMIC, ISIC Rev.4, ACIC and NSIC. EAMS Secretariat also mentioned the importance of EAMIC, which will reflect regional characteristics and enhance the regional and international comparability in manufacturing statistics. EAMS Meeting reconfirmed the importance of the regional industrial classification for data comparability. EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 10**.

(e) Report on the Draft EAMIC

17. The Philippines reported on the Draft EAMIC on behalf of the Pilot Study countries. She explained each of the 57 new classes created under Draft EAMIC. The Draft EAMIC consists of 176 classes. The Pilot Study paper appears as **Annex 11**.

(f) Report on the Data Items to be provided and Metadata

18. Thailand, on behalf of the Pilot Study countries, reported on the twelve data items to be provided by the Pilot Study countries in conformity with the Draft EAMIC. Those items are: number of establishments/enterprises, number of establishments/enterprises with foreign capital, total number of workers (paid and unpaid), total number of paid workers, salary and wages, total input cost, cost of raw materials, value of gross output, value of goods produced, value of industrial services rendered, value added, and value of fixed assets other than land.

19. She also reported that the Pilot Study countries recommended the metadata which shall describe the statistical concepts, methodologies for the collection and generation of data and information on data quality. She emphasized the importance of the metadata for the data users to understand the

data correctly as well as the strengths and limitations of the statistics.

20. She added that the Pilot study Countries agreed to provide data at 4-digit level in conformity with the Draft EAMIC as well as the metadata. The metadata dimensions will comprise of the following: coverage, methodology, periodicity, timeliness, integrity and confidentiality.

21. EAMS Meeting expressed deep appreciation for the efforts and contribution of the Pilot Study countries. The Pilot Study paper appears as **Annex 12**.

(g) Work program of the 2nd Year Pilot Study

22. EAMS Secretariat reported on the activities planned for the second year Pilot Study in 2008 including three missions of the activities: 1) provision of data in accordance with the Draft EAMIC; 2) provision of metadata in accordance with the outcome of the first year Pilot Study; and 3) review of the Draft EAMIC based on the comments received from the non-Pilot Study countries. In particular, the importance of the data provision mechanism was emphasized. EAMS Meeting agreed on the second year work program. EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 13**.

(h) Overview of the EAMIC

23. ASEAN Secretariat outlined the potential contribution of EAMIC in enabling better analysis of intra-industry trade and the growing industry in the region, and in facilitating the compilation of the National Accounts Statistics. ASEAN Secretariat also explained the potential contribution of EAMIC towards the harmonization of statistics and suggested some possible follow-up to be made including technical assistance to Cambodia, Lao PDR and Myanmar, which can enhance the quality and comparability of the manufacturing industry statistics among countries in the region. ASEAN Secretariat's paper is attached as **Annex 14**.

(i) Future work of EAMS

24. EAMS Secretariat proposed the future work plan and time frame. EAMS Secretariat requested non-Pilot Study countries to provide feedbacks on the Draft EAMIC by the end of August 2008. Regarding the work plan for 2009 and after, EAMS Secretariat explained that all member countries would be required to submit data in 2010. EAMS secretariat added that the detailed work plan for 2009 and after would be tabled at the fourth EAMS Meeting based on the result of the second year Pilot Study. EAMS Secretariat also suggested the future perspective of the data management and access, and mentioned that the website

for the EAMS was now under construction with the support of AMEICC Secretariat. EAMS Meeting agreed on the proposed work plan. EAMS Secretariat's paper appears as **Annex 15**.

(j) Proposal for project of Industrial Statistics with the Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA)

25. AMEICC Secretariat briefed EAMS Meeting on the status of ERIA which is a research institute to conduct economic research and policy analysis as well as capacity building activities to promote East Asian economic integration. The presentation material is attached as **Annex 16**.

26. EAMS Meeting agreed to seek cooperation with ERIA to conduct research and provide capacity building to CLM to further improve industrial statistics in ASEAN+3 region in the areas such as industrial classification and survey methodology.

II. AMEICC/WGS Meeting (29th MAY 2008)

(k) Report on the Overall activities of AMEICC

27. AMEICC Secretariat briefed AMEICC/WGS Meeting on the recent developments of AMEICC activities. AMEICC Secretariat also reported to the Meeting that the formation of EAMS was proposed at the tenth Consultation between the ASEAN Economic Ministers and the Ministers of People's Republic of China, Japan and Republic of Korea (AEM Plus Three) and the proposal was welcomed by the Ministers. AMEICC Secretariat's paper is attached as **Annex 17**.

(l) Report on the Implementation Status of Work Program of AMEICC/WGS in Member Countries

28. Respective member countries reported on the implementation status of commercial statistics. Member countries reconfirmed that there are multiple commercial statistics carried out in ASEAN Plus Three, whereas some countries face challenges in implementing commercial statistics on a regular basis and collecting large number of micro scale establishments. Each Country's paper is attached as **Annex 18**.

(m) Guest Speech Session

(m-1) Economic Census in China

29. China briefed AMEICC/WGS Meeting on her efforts to prepare the second Economic Census, explaining coverage, items and schedule. She also stressed the importance of leadership to successfully implement the Economic Census on such a huge scale. She also clarified the differences between the second and the first Economic Census that was implemented in 2004. The Meeting appreciated the presentation and wished the success of implementation of the second Economic Census of China. The presentation paper is attached as **Annex 19**.

(m-2) Industrial Statistics in China

30. China also gave AMEICC/WGS Meeting an overview of her industrial statistics. She explained among others, units surveyed, scope, survey methodology, enumeration, sample survey, as well as on-line reporting system and publication. The Meeting appreciated the presentation. The paper is attached as **Annex 20**.

(m-3) Importance of Regional Manufacturing Statistics in East Asia

31. Prof. Masahiko Shimizu of Keio University presented the importance of regional manufacturing statistics and classification from the viewpoint of economic research. He reminded the participants of the close economic relationships in East Asia region and highlighted the importance of measuring the international division of labor and economic inter-dependency. Along this line, he emphasized the need to have accurate and comparable statistics; one requirement of which is to harmonize the classification. He also reminded that the regional classification, while highlighting the specificity of the region, should also keep in harmony with other international standards. He expressed his sincere hope that EAMS would be able to help improve the regional classification.

32. Prof. Shimizu suggested that EAMS Meeting submit their opinions to the United Nations Statistics Commission based on the outcome of the study to reflect the region's position in the process for developing international statistical classification. He further suggested to put more efforts to ensure that no country gets left behind in the process of developing comparable statistics in East Asia region. He specifically recommended training to develop the expertise of statistics and subject matter specialists. His paper is attached as **Annex 21**.

*(n) Other Matters**(n-1) Seminar on industrial statistics in FY2008*

33. The Meetings welcomed the proposal of Singapore to hold the seminar on industrial statistics in FY2008. The details will be discussed between the Economic Development Board, Singapore and the EAMS Secretariat.

(n-2) Date and venue of the next meeting

34. The Meetings expressed their appreciation to the Philippines to host the fourth EAMS Meeting and the eighth AMEICC/WGS Meeting in May 2009, subject to the final approval of the Government of the Philippines.

(n-3) Issues to be discussed in the next meetings

35. EAMS Meeting agreed on the tentative agenda of the fourth EAMS Meeting: (1) preliminary East Asia Manufacturing Industrial Statistics Comparative Matrix Table from the Second Year Pilot Study including the potential uses for Member Countries; (2) the mechanism for data provision; (3) Adoption of EAMIC; and (4) revised United Nations International Recommendations for Industrial Statistics.

36. AMEICC/WGS Meeting agreed to discuss commercial statistics in the next meeting focusing on survey methodology.

(n-4) Status of China and Republic of Korea in AMEICC/WGS

37. AMEICC/WGS Meeting agreed to invite People's Republic of China and Republic of Korea to join the AMEICC/WGS Meeting as official members, subject to the official endorsement of the authorities of the two countries and AMEICC Ministerial Meeting. AMEICC Secretariat confirmed to undertake the necessary consultation process in cooperation with EAMS Secretariat.

(n-5) Acknowledgement

38. On behalf of the participants, representative of Vietnam expressed sincere thanks and appreciation to the Government of People's Republic of China, in particular the National Bureau of Statistics, for the excellent arrangements and warm hospitality.